

「スポーツビジネス促進」と

「スポーツを通じた地域活性化」

のための専門展&コンファレンス

スポーツビジネスジャパン[®]2019 together with スタジアム&アリーナ2019

Sports Business Japan 2019 together with Stadia & Arena Japan 2019

2019 11/19 火 10:00~18:00

20 水 10:00~17:30

さいたまスーパーアリーナ

主催 : 日本スポーツ産業学会 / 株式会社コングレ / 株式会社スペースメディアジャパン

パートナー : Brintex Ltd. - part of Hemming Group (英国)

特別協力 : コトブキシーティング株式会社 / 株式会社スポーツビズ

特別後援 : 一般社団法人日本トップリーグ連携機構 / 一般社団法人Entertainment Committee for STADIUM・ARENA (ECSA/エクサ)

後援 : スポーツ庁 / (公財)日本サッカー協会 / (公社)日本プロサッカーリーグ / (公財)日本バスケットボール協会 / (一社)バスケットボール女子日本リーグ / (一社)日本バレーボールリーグ機構 / (一社)Tリーグ / (一社)日本eスポーツ連合 / (公財)日本体育施設協会 / (公社)全国大学体育連合 / (一社)大学スポーツ協会(UNIVAS) / (一社)日本スポーツアナリスト協会 / (公社)日本建築家協会 / 埼玉県 / さいたま市 / (一社)さいたまスポーツコミッション / (一社)新経済連盟 / (特非)日本PFI・PPP協会 / (一財)自治体国際化協会(CLAIR) (順不同)

オフィシャルスポンサー : 株式会社竹中工務店 / 大成建設株式会社 / パナソニック株式会社

ネットワーキングレセプション協賛 : コトブキシーティング株式会社

コンファレンス協賛 : 株式会社山下PMC

メディアパートナー : HALFTIME

デモンストレーションエリア協賛 : 株式会社モルテン / 株式会社トーガシ

主催
Organizers



パートナー
Global Partner



オフィシャルスポンサー
Official Sponsors



ネットワーキングレセプション協賛
Networking Reception Sponsor



コンファレンス協賛
Conference Sponsor



メディアパートナー
Media Partner



デモンストレーションエリア協賛
Demonstration Area Sponsors



www.sportsbusiness.jp

■ 主催者挨拶	3
■ 開催概要	4
■ 会場案内図	5
■ 出展者リスト	6
■ 出展者情報	8
■ コンファレンススケジュール	21
■ コンファレンスプログラム	22
■ 出展者プレゼンテーション	30
■ デモンストレーションエリア	31

本年度も「スポーツビジネスジャパン 2019 together with スタジアム & アリーナ 2019」を盛大に開催できる運びとなりました。ご来場の皆様、ご尽力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

ラグビーワールドカップ 2019 日本大会は事前の予想を超える大成功を取ることができました。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会も同様に、諸困難を乗り越え、成功裡に終わることと確信しています。これらを契機とした日本のスポーツ産業の発展に貢献すべく、本イベントの内容も一層充実させてゆく所存です。

今後とも皆様方からのご指導をお願いするとともに、皆様方のご多幸とご健勝を祈念し、ご挨拶といたします。

北村 薫

日本スポーツ産業学会 理事長

順天堂大学 名誉教授

この度は、「スポーツビジネスジャパン 2019 together with スタジアム&アリーナ 2019」にご来場賜わり、まことにありがとうございます。ゴールドデンスポーツイヤーズのスタートの年、ラグビーワールドカップの大いなる成功の直後であるこの時期に、本展示会・コンファレンスを開催できますこと、たいへん嬉しく思っております。世界から大勢の選手や観戦に訪れる方々を迎え、また、スタジアムや映像の前で素晴らしいゲームに魅き込まれながら、真にスポーツの力を実感することができた今、産業としてのスポーツの可能性を見据えて、本イベントを開催いたします。今回は、スポーツ×SDGsという視点も取り入れ、持続可能なスポーツと社会の発展を合わせて考えてまいります。本イベントが、皆様のビジネスのお役に立ちますよう記念し、ご挨拶とさせていただきます。

武内 紀子

株式会社コングレ 代表取締役社長

Welcome to Sports Business Japan 2019 together with Stadia and Arena Japan 2019 at Saitama Super Arena! This is our fourth event for promoting sports business market as well as stadia and arena industry in Japan. From this year Japan has three big international sporting events every year until 2021. The first one, Rugby World Cup 2019 which started in September and the final match on November 2nd has a tremendous success and it became a nationwide fever for general sports fan. We expect more excitements in 2020 Olympics and Paralympics and World Masters Game in 2021. We believe that our event can contribute to stadia and arena industry through new ideas and innovations as well as in the sports industry.

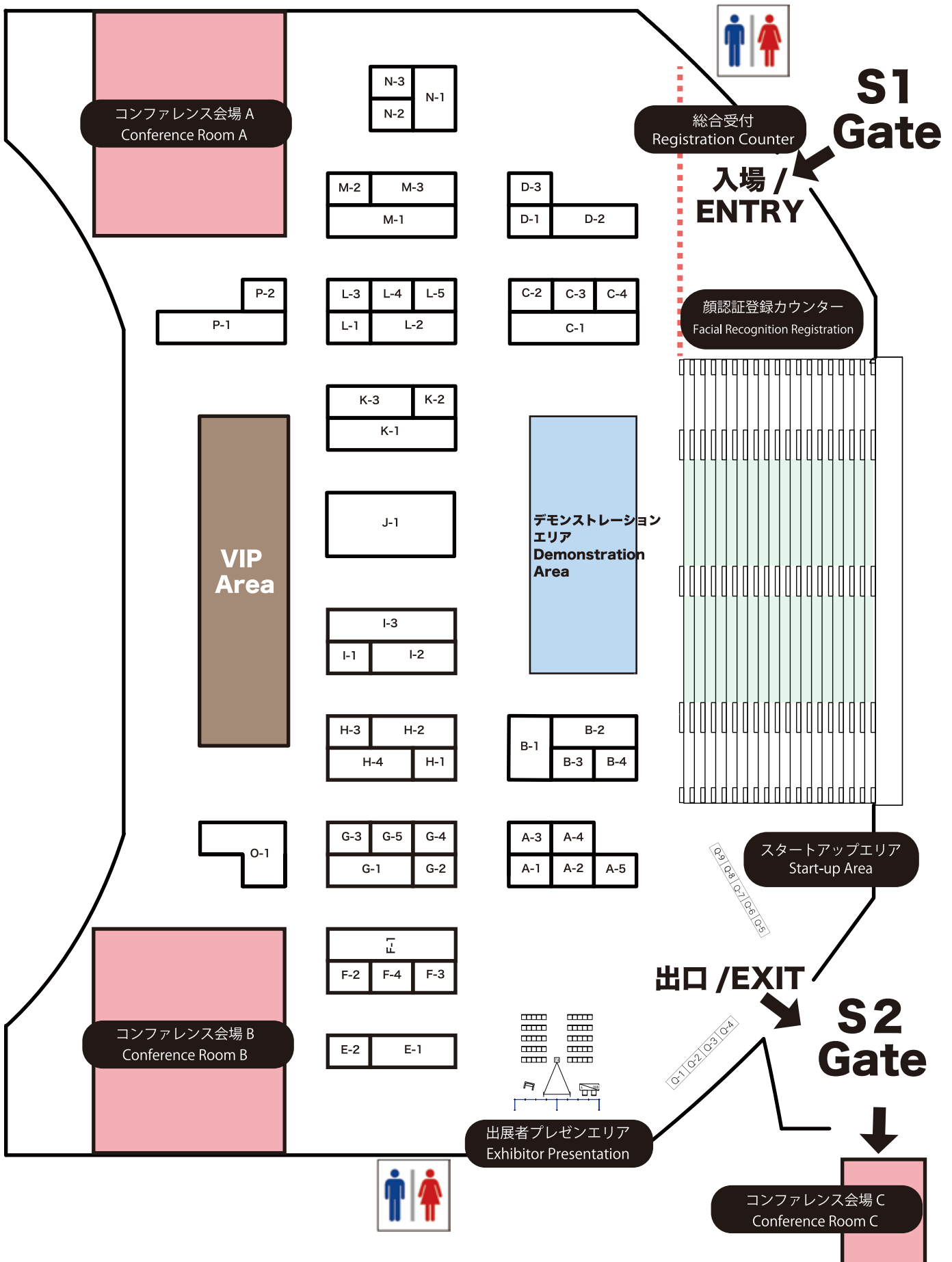
Hiroyuki Sugano

President and CEO

Space Media Japan Co., Ltd.

名 称	スポーツビジネスジャパン2019 together with スタジアム&アリーナ2019 SPORTS BUSINESS JAPAN 2019 together with STADIA & ARENA JAPAN 2019
開催趣旨	<p>●最先端 スタジアム・アリーナ改革の今を体感する場 全国各地で進むスタジアム・アリーナ新設・改修構想を背景に、稼げるスタジアム・アリーナを目指し、最新技術と製品・システム・サービスを一堂に会して体験できる場を提供することにより、スポーツ産業のさらなる成長を目指す。</p> <p>●地方創生 スポーツを核にしたまちづくり スポーツを核にした地域活性化により人口流出、空洞化といった地方が抱える課題の解決を目指す最新事例、動向を社会にアピールし地域貢献を促す。</p> <p>●融合&革新 ICTとスポーツ界が融合する事で生まれ変わる観戦エクスペリエンスやニュービジネスにより新たなスポーツ産業の確立を目指す。</p>
会 期	<p>2019年11月19日(火) 10:00~18:00 2019年11月20日(水) 10:00~17:30 ※スタジアム・アリーナ視察ツアー日時:11月18日(月) 13:00~17:00 ※ネットワーキングレセプション日時:11月19日(火) 18:30~19:45 Nov.19-20, 2019 19th 10:00 - 18:00, 20th 10:00 - 17:30 ※Stadia & Arena Venue Tour :Nov. 18th 13:00~17:00 ※Networking Reception:Nov. 19th 18:30~19:45</p>
会 場	さいたまスーパーアリーナ 〒330-9111 埼玉県さいたま市中央区新都心8 SAITAMA SUPER ARENA
主 催	日本スポーツ産業学会/株式会社コングレ/株式会社スペースメディアジャパン
パートナー	Brintex Ltd. - part of Hemming Group (英国)
特別協力	コトブキシーティング株式会社/株式会社スポーツビズ
特別後援	一般社団法人日本トップリーグ連携機構/ 一般社団法人Entertainment Committee for STADIUM・ARENA (ECSA/エクサ)
後 援	スポーツ庁/(公財)日本サッカー協会/(公社)日本プロサッカーリーグ/(公財)日本バスケットボール協会/ (一社)バスケットボール女子日本リーグ/(一社)日本バレーボールリーグ機構/(一社)Tリーグ/ (一社)日本eスポーツ連合/(公財)日本体育施設協会/(公社)全国大学体育連合/(一社)大学スポーツ協会(UNIVAS)/ (一社)日本スポーツアナリスト協会/(公社)日本建築家協会/埼玉県 / さいたま市 / (一社)さいたまスポーツコミッション/(一社)新経済連盟/(特非)日本PFI・PPP協会/(一財)自治体国際化協会(CLAIR) (順不同)
オフィシャルスポンサー	株式会社竹中工務店/大成建設株式会社/パナソニック株式会社
ネットワーキング レセプション協賛	コトブキシーティング株式会社
コンファレンス協賛	株式会社山下PMC
メディアパートナー	HALFTIME
デモンストレーション エリア協賛	株式会社モルテン/株式会社トーガシ

さいたまスーパーアリーナ (コミュニティアリーナ)



A-1	埼玉県(埼玉イノベーションリーダーズ育成プログラム (Saitama Sports Start-up))	Saitama Prefecture
A-2	舞洲プロジェクト	Maishima Project
A-3	(一社) さいたまスポーツコミッション	Saitama Sport Commission
A-4	(株) さいたまアリーナ	Saitama Arena Co.,Ltd.
A-5	ウォータースタンド (株)	Water Stand
B-1	(株)久米設計	KUME SEKKEI co.ltd.
B-2	(株)モルテン	molten Corporation
B-3	(株)トーガシ	tohgashi co., ltd.
B-4	さいたま市	Saitama City
C-1	佐藤工業(株)	SATO KOGYO CO.,LTD.
C-2	N-SEATING CO.,LTD.	N-SEATING CO.,LTD.
C-3	日本スポーツ産業学会	Japan Society of Sports Industry
C-4	ブリッド(株)	BRIDE
D-1	(株) ニッシンイクス	NISSIN EX. CO., LTD.
D-2	NEC ネットズエスアイ (株)	NEC Networks & System Integration Corporation
D-3	(株)チュウブ	Chubu Co.Ltd
E-1	(株) ヤマハミュージックジャパン NEXO ヤマハサウンドシステム (株)	Yamaha Music Japan Co., Ltd. NEXO Yamaha Sound Systems Inc.
E-2	(一財) グリーンスポーツアライアンス	Green Sports Alliance
F-1	清水建設(株)	SHIMIZU CORPORATION
F-2	(特非)Being ALIVE Japan	Being ALIVE Japan
F-3	(一社)Entertainment Committee for STADIUM・ARENA	Entertainment Committee for STADIUM・ARENA
G-1	パナソニック(株)	Panasonic Corporation
G-2	(株)山下PMC	Yamashita PMC Inc.
G-3	(株)エヌジーシー	NGC Corporation
G-4	(株)タニタ	TANITA corporation
H-1	ピーエス(株)	PS Company Ltd
H-2	(株) 東畑建築事務所	TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS
H-3	(株)CSI ソリューションズ	CSI SOLUTIONS CORP.
H-4	(株)イトーキ	ITOKI CORPORATION

I-1	Axess Japan(株)	Axess Japan
I-2	IXPASS(イクスパス)	IXPASS
I-3	(株)竹中工務店	Takenaka Corporation
J-1	コトブキシーティング(株)	KOTOBUKI SEATING CO., LTD.
K-1	大成建設(株)	TAISEI CORPORATION
K-2	(株)日建設計	NIKKEN SEKKEI LTD
K-3	(株) MLJ	MLJ, Inc.
L-1	エンリオJAPAN / セノー(株)	ENLIO JAPAN / SENO Inc.
L-2	(株)共立電照	Kyoritsu Densyo Co.,Ltd.
L-3	東洋グリーン(株)	Toyo Green Co., Ltd.
L-4	(株)近畿日本ツーリスト首都圏	Kinki Nippon Tourist Metropolitan Co.,Ltd.
L-5	戸田建設(株)	TODA CORPORATION
M-1	Terraplas	Terraplas
M-2	ELAN inventa	ELAN inventa
M-3	スポーツビジネスジャパン2020	Sports Business Japan 2020
N-1	Signature Systems Group, LLC	Signature Systems Group, LLC
N-2	Natural Grass	Natural Grass
N-3	ディーアンドビー・オーディオテクニク・ジャパン(株)	d&b audiotechnik Japan K.K.
O-1	(株)大林組	OBAYASHI CORPORATION
P-1	(株)梓設計	Azusa Sekkei Co., Ltd.
P-2	AGC(株)	AGC Inc.
Q-1	コーディエンス	codience
Q-2	playground(株)	playground Co., Ltd.
Q-3	(株)Sportip	Sportip, Inc.
Q-4	タイムカプセル(株)	TimeCapsule Inc.
Q-5	(株)KAGO食スポーツ	KG-Sport
Q-6	REXARD JAPAN (株)	REXARD JAPAN Cp., Ltd.
Q-7	Rirry ME ホールディングス	Rirry ME Holdings
Q-8	(株)MOJ	MOJ Co.,Ltd.
Q-9	(株)CUVEYES	CUVEYES

A-1

埼玉県(埼玉イノベーションリーダーズ育成プログラム(Saitama Sports Start-up))

E-mail : a3770-03@pref.saitama.lg.jp URL : <http://www.pref.saitama.lg.jp/a0803/ilt.html>

埼玉県では、東京2020オリンピック・パラリンピック等を控え、拡大が見込まれるスポーツ市場について、アイデアの事業化及び事業の成長を目指す若者を支援するため、「埼玉イノベーションリーダーズ育成プログラム(Saitama Sports Start-up)」を実施しています。本プログラムは、埼玉を代表とするプロスポーツクラブ・球団である浦和レッドダイヤモンズ・大宮アルディージャ・埼玉西武ライオンズの協力のもと、3者から提供いただいた課題に対して、ベンチャー企業や起業希望者が自らのアイデアや技術等を用いた課題解決方法を提案するプログラムです。

A-2

舞洲プロジェクト / Maishima Project

E-mail : info@maishima.osaka URL : <https://maishima.osaka/>



舞洲は大阪の湾岸エリアにあり、2025年大阪・関西万博が開催される夢洲の北に位置する面積約220ヘクタールの人工島です。本プロジェクトは舞洲を拠点に活動する大阪エヴェッサ、オリックス・バファローズ、セレッソ大阪のトッププロ3チームが、大阪市と共同して、スポーツ振興やスポーツ産業振興及び舞洲エリアの活性化をする取組みです。

MAISHIMA is a 220 ha reclaimed island located in Osaka Bay area just north of YUMESHIMA where 2025 Osaka/Kansai World EXPO will be held. MAISHIMA PROJECT consists of 3 professional Sports teams active in Maishima, namely, Osaka Evessa (Basketball), Orix Buffaloes(Baseball), Cerezo Osaka(Soccer) and Osaka City Government. The project promotes various sports activities in Public Private Partnership format. Our main activities are to organize collaborative events with professional sports teams and dissemination of information about sports activities and tourist attractions in Maishima. Also, we promote sports industry by creating new value added businesses based on collaborations between companies and sports teams. The joint project by 3 different professional sports teams collaborate on common base is one and only in Japan.

A-3

一般社団法人さいたまスポーツコミッション / Saitama Sport Commission

E-mail : support@saitamasc.jp URL : <http://saitamasc.jp>



一般社団法人さいたまスポーツコミッション(SSC)は、スポーツイベントの誘致・開催を通じて交流人口の拡大を図り、地域スポーツの振興と地域経済を活性化することを目的として設立した法人です。さいたま市とともに、世界が認める「日本一のスポーツ先進都市」「スポーツ No.1 都市」をつくります。

Saitama Sport Commission (SSC) is the association which is established for the purpose of promoting local sports and revitalizing the local economy by attracting, holding and supporting sport events to expand the exchange population.

We are making our city which is recognized by the world as "The Best Sport Advanced City in Japan" and "Sport No 1 City" with Saitama City.

A-4

株式会社さいたまアリーナ / SAITAMA ARENA Co., Ltd.

URL : <https://www.saitama-arena.co.jp/arena/>



「さいたまスーパーアリーナ」は、最大で37,000人収容できる日本国内最大級の多目的アリーナです。2万人収容の音楽イベントや屋内スポーツ・格闘技に最適な「メインアリーナ」、そして連動利用や同時利用が可能な7500㎡の「コミュニティアリーナ」と、空間の多彩なアレンジも可能です。東京2020オリンピックでは、男女バスケットボール全試合の競技会場になります。東京都心から30分程度のアクセスも好評です。観やすい客席レイアウトや快適な音響環境、分割して昇降する天井、大型トラックが乗り入れ可能な床面など、大型屋内イベントに最適なアリーナとの評価も定着しており、連日ビッグイベントが開催されています。

SAITAMA SUPER ARENA is the largest multi-purpose arena in Japan that can accommodate up to 37,000 people. The "Main Arena" is ideal for music events with a capacity of 20,000 people, indoor sports and martial arts, and the "Community Arena" with a size of 7,500 m² can both be used together as one or individually at the same time. At the TOKYO OLYMPIC GAMES, it will be the venue for all men and women basketball games. It can be accessed in about 30 minutes from central Tokyo with one train. An easy-to-view auditorium layout, a comfortable acoustic environment, a ceiling that divides up and down, and a floor surface that can accommodate large trucks are the convenient facilities you can utilise at the best arena for holding indoor events, and grand events are held daily.

A-5

ウォータースタンド株式会社 / WATERSTAND Co., Ltd.

E-mail : kikaku_member@waterstand.co.jp URL : <https://waterstand.jp/>



ウォータースタンドは、水道直結式ウォーターサーバーです。お水を買うのではなく、お水を造るサーバーをレンタルするサービスです。料金体系は、月々の定額制なのでランニングコストは一定、低コストで美味しいお水をご提供できます。また、お水の容器(プラスチックボトル)が不要なため、プラスチックゴミができません。マイクロプラスチック問題の解決にも貢献します。

"WATERSTAND" is a water server directly connected to water. Rather than buying water, it is a service to rent a server to make water. We can provide delicious water at low cost.

B-1

株式会社久米設計 / Kume Sekkei Co., Ltd.

URL : <https://www.kumesekkei.co.jp/>

**K U M E
S E K K E I**

久米設計は、これまで数多くのスポーツ&エンターテインメント施設づくりに携わってきました。建物の設計だけでなく、事業やビジネスを企画するところから、プロジェクトマネジメントやコスト・コンストラクション マネージメントまで幅広く事業のサポートを行ってきています。複合的なビジネスのマッチングや PFI・PPP などの事業手法についても、クライアントの皆さまと一緒に最適な手法を考えていきます。私たちは、すべてのサービスがワンストップでご提供できる「TOTAL DESIGN SOLUTION FIRM」として文化・都市・社会に貢献していきます。

KUME SEKKEI has designed many facilities for sports & entertainment. We provides not only architectural design service but also business planning, project management, cost management and construction.

B-2

株式会社モルテン / Molten Corporation

URL : <https://www.molten-b-plus.com/>



念願のプロリーグが立ち上がり、日本代表のオリンピックへの道がひらかれた。きっと日本のバスケットは大きく変わろうとしている。でも、まだ何か足りない。「もっと強い日本を、バスケットが溢れる風景を」そんな想いを込めてバスケットに新しい要素をプラスする「B+」ブランドを立ち上げました。今回の出展では、B+のミッションである『強化』と『普及』の2つの視点でバスケット界を発展させていくための製品(ゲームユニットやシューティングマシン)を活用したビジネスモデルやコンテンツのご提案をいたします。実際に皆さまにも体験いただけるコンテンツもご用意しておりますので、是非デモンストレーションエリアにお立ち寄りください。

B-3

株式会社トーガシ / tohgashi co., ltd.

URL : <https://www.tohgashi.co.jp>



イベント空間を演出して54年、「空間広告代理店」トーガシと申します。企画デザイン、施工、運営、事務局代行まで、自社内一貫体制で充実したサービスをご提供いたします。国内5か所・アジア2か所に拠点をもち、日本全国～海外まで対応可能です。大型会場での展示会やセミナーの他、イベント装飾・什器製作・広告物全般まで、ありとあらゆるクリエイティブをサポート!!「安心・安全」の品質を追求し、お客様の課題とコストに見合った“伝わる”コミュニケーション戦略をプロデュース致します。

We are Tohgashi, a "Space Media Agency". We have been appearing in events for over 50 years. We offer services for everything in the event industry and the highest quality all over the world.

B-4

さいたま市 / saitama city

E-mail : toshi-keiei@city.saitama.lg.jp URL : <https://www.city.saitama.jp/index.html>



さいたま市は、これまでの浦和美園地区を中心とするスマートシティに係る取組の推進や、東日本の玄関口として、立地優位性を活かした東日本全体の地方創生に資する取組が認められ、2019年7月1日、内閣府より「SDGs未来都市」に埼玉県内として初めて選定されました。「誰一人取り残さない」というSDGsの理念は、本市が目指す「市民一人ひとりがしあわせを実感できる“絆”で結ばれたさいたま市」、「誰もが住んでいることを誇りに思えるさいたま市」と同様の方向を向いていることから、これらの都市像の実現に向けて、各種施策を全力で推進してまいります。

C-1

佐藤工業株式会社 / SATO KOGYO Co., Ltd

E-mail : SKIP@satokogyo.co.jp URL : <https://www.satokogyo.co.jp>



佐藤工業は、総合建設業として「建設品質。」をキーワードに、お客様満足度のさらなる向上に取り組み、安全・安心かつ快適な空間の創造、そして良質な社会基盤の整備に努めて参りました。これからお客様第一をこころがけ、社会ニーズを取り込み、高品質、高機能のサービスを提供するお客様のグッドパートナーをめざして参ります。

Expanding on Sato Kogyo's guiding corporate philosophy of 'Total Project Excellence', we have strived in years past to enhance customer satisfaction, build safe, secure and comfortable spaces and develop high-quality social infrastructure. Going forward, we remain dedicated to placing our customers' interests first, responding to society's needs, maintaining excellence and being a good partner to high-tech service organizations.

C-2

N-SEATING

E-mail : overseas@nseating.com URL : www.nseating.com



弊社の N-SEATING は、テレスコピックシート、スタジアムシート、その他のシート製品の製造企業です。海外や現地市場で多くの名門プロジェクトを経験しました。(FIFA ワールドカップ/アジア大会/冬季オリンピック/FINA 世界選手権など)特に、スマートフォンや操作性など、スマートフォンの安全性が優れているオプションが多数あります。他の競合他社にはないオプションです。

We, N-SEATING, is a leading manufacturer of telescopic seating, stadium seating and other seating products. We have experience of many prestigious project in overseas and local market. (FIFA World cup / Asian Games / Winter Olympic Games / FINA World Championships..etc) Especially, our telescopic seating has many superior options with high end functions, such as operation by smart phone and other safety options (video surveillance by a smart phone and other detecting sensor options), which other competitors do not have.

C-3

日本スポーツ産業学会 / JAPAN SOCIETY OF SPORTS INDUSTRY

E-mail : jssi@spo-sun.gr.jp URL : <https://spo-sun.gr.jp/>



日本スポーツ産業学会は平成2年に設立された学術団体です。「スポーツ産業の健全な発展に寄与できる学会」「産官学の共同による開かれた学会」「国際性豊かな学会」等を理念に、スポーツ産業が直面する課題解決のために、学会大会、学会誌・情報誌発行、研究会・セミナー・シンポジウム等の開催など、様々な活動を推進しています。

C-4

ブリッド株式会社 / BRIDE Co., Ltd.

E-mail : info@bride-jp.com URL : <https://spo-sun.gr.jp/>



BRIDE(ブリッド)ブランドで、自動車のシートを製造してきましたが、近年は新たな試みとして、スタジアム・アリーナ向けのシートや e-Sport 向けのシートを開発し参入しています。目的や好みに合わせてスペシャルなシートをお創りします。

"BRIDE" brand, we have manufactured seats for automobiles. In recent years, we have developed seats for stadiums and arenas and seats for e-Sports as a new field. We will create a special seat according to your purpose and preference.

D-1

株式会社ニッシンイクス / Nissin Ex Co., Ltd.

URL : <http://nissin-ex-seating.com/>



ニッシンイクスは、長年にわたる商品開発の知識と経験をもとに世界で多くの実績を持つ海外のシーティングメーカーと提携し、日本のお客さまにご満足いただける品質と価格を追求した商品をお届けします。劇場、教育施設、スポーツ施設などご利用いただける多種多様な観覧席を標準仕様とお客さまのご要望に合わせたカスタム仕様でご提供いたします。

D-2

NECネットエスアイ株式会社 / NEC Networks & System Integration Corporation

E-mail : n-aikawa@nesic.com URL : <https://www.nesic.co.jp/>

NECネットエスアイ

これからのスタジアム・アリーナ等の集客施設は、地域へ広がり活性化する役割が求められます。当社は、お客様に「また利用したい」と感じさせるため、先端技術を活用した提案・導入をいたします。■出展サービス(予定)・離れた場所と場所を繋げる、「空間共有サービス」・スタジアム/アリーナの座席から飲食物等の注文を行える、「席から注文システム」・施設の臨場感溢れるプロモーションコンテンツを提供する、「空間撮影&3Dコンテンツ配信サービス」その他、弊社の導入事例も併せて紹介いたします。是非当社ブース(イベントホール D-2)にお立ち寄りください。

The future stadium and arena we think will require a role that spreads throughout the region and is activated. We will provide support using advanced technology to make customers feel "want to come again".

■ Exhibition service (planned) ・ "Space sharing service" that connects distant places ・ "Seat-to-order system" that allows customers to order food and drinks from stadium / arena seats ・ "Space shooting & 3D content distribution service" that provides promotional content for facilities with a sense of reality. In addition, we will introduce our case studies. Please drop in at our booth (Event Hall D-2).

D-3

株式会社チュウブ / Chubu Co., Ltd.

E-mail : info@yourchubu.com URL : <https://www.danketurf.com>



当社は芝生の生産・販売・施工・管理・施設運営までをワンストップで提案する TURF PRODUCE COMPANYです。ゴルフ場の運営事業をはじめ、公園やスポーツ施設の運営など多岐にわたっています。また取り扱う多種多様な芝生の品種と規格を組み合わせることで、お客様の様々なニーズにも対応しております。更にプロ野球、Jリーグなど国内競技のみならず、国際競技の基準にも対応した高品質な芝生を提供しております。ここで今回のブースでは、2019ラグビーワールドカップ日本大会の本会場となった熊谷ラグビー場と東京スタジアムに導入された芝生であるティフグランド等をご案内致します。ぜひ世界基準の芝生を体感下さい。

In this booth, we will show you another turf and the Tif Grand that was introduced at the Kumagaya Rugby Grounds and Tokyo Stadium, which was the main venue for the Rugby World Cup 2019 Japan Games.

E-1

株式会社ヤマハミュージックジャパン / YAMAHA MUSIC JAPAN CO., LTD.

URL : <http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>



(株)ヤマハミュージックジャパンは、ヤマハ株式会社の100%出資による販売会社です。2013年4月の設立以来、日本国内のお客様に「音・音楽」に関する製品や総合的なサービスの提供を通じて、その楽しみ方からさまざまな課題の解決までを総合的に提案するベスト・ソリューション・カンパニーとして、人々のより豊かな暮らしのお役に立つことを目指しています。

Yamaha Music Japan Co., Ltd. was founded in April of 2013 as a sales agency fully through investment by the Yamaha Corporation. We hope to enrich people's lives as a best solution company that provides a solution business that solves various customer issues and comprehensive ways to enjoy "Sound and Music", through supplying products and comprehensive services related it.

E-1

NEXO / NEXO S.A.

E-mail : info@nexo.fr URL : <http://nexo-japan.com/>



NEXOはプロオーディオの分野において40年の歴史を持つ、フランスを拠点とした世界有数の業務用スピーカーメーカーです。革新的かつコンパジェンなデザイン、そして先端的なものづくりの中核的な存在として、スタッド・ド・フランス、アイプロックス・スタジアム、スタッド・ローラン・ギャロス、ナゴヤドーム、札幌ドーム、豊田スタジアムをはじめ、現代のスポーツ環境に卓越した音質と長期的な信頼性を提供してきました。

NEXO, established in France, is a world-leading loudspeaker manufacturer with 40 years of experience in professional sound reinforcement industry. We have represented the pinnacle of innovative, convergence-inspired design and advanced manufacturing, delivering outstanding sound quality and long-term reliability in the modern sports environment, e.g. Stade de France, Ibrox Stadium, the Roland Garros Stade, Nogoya Dome, Sapporo Dome and Toyota Stadium.

E-1

ヤマハサウンドシステム株式会社 / YAMAHA SOUND SYSTEMS INC.

URL : <http://www.yamaha-ss.co.jp/>



ヤマハサウンドシステム(株)はスタジアム・体育館などスポーツ施設、劇場などの大空間において最適な音響システムを提供するエンジニアリング会社で、音響システムの設計、施工、保守、これら一連のプロセス全てを行なっています。数多くの施工実績から蓄積したノウハウ、高い顧客満足から得られた信頼のもとに、大空間において先進技術を駆使し、使いやすく、高音質、明瞭性の良い音響システムを実現します。

Yamaha Sound Systems provides advanced sound systems for stadiums, arenas, halls, theaters and other type of large spaces. We undertake planning, construction, and maintenance of audio equipment for numerous facilities in Japan, as well as developing and manufacturing professional audio equipment. Our systems are easy to operate and provide consistent high-performance sound.

E-2

一般財団法人グリーンスポーツアライアンス / Green Sports Alliance Japan



(一財)グリーンスポーツアライアンスは、理事である社会医療法人財団仁医会牧田総合病院脳神経外科の朝本俊司医師、FBトライアングル(株)との合同研究で、日本原子力研究開発機構が取得している特許をベースにした超高真空高感度ガス分析装置を開発しています。呼気ガス内に含まれる脳内神経伝達物質を検知することで、脳震盪の回復度評価、ドーピング擬陽性分析に繋げていくのみならず、一般の人々の日々の健康管理や「心の豊かさ」の可視化を目指すプロジェクトとしてBRAINGAGEを立ち上げました。スポーツからの新しい持続可能社会実現(スポーツx SDGs)への具体的なアクションとして取り組んでおります。

Ultra high vacuum and high sensitivity gas analyzer based on a patent acquired by the Japan Atomic Energy Agency. Aspiring to visualize the "Wellness of Mind" by the new project called BRAINGAGE.

F-1

清水建設株式会社 / SHIMIZU CORPORATION

URL : <https://www.shimz.co.jp>



清水建設は、スポーツビジネスに特化したチームを編成し、構想段階から、開発スキームの検討、施設計画、施工計画、竣工後の運営、エネルギーサービスまで、事業サイクル全般にわたりパートナーとしてお客様と一緒に 検討を行い、課題を解決していくことを目指しています。当社ブースでは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技会場、ラグビー専用スタジアム、スタジアム改修、自転車競技場の施工事例についてご紹介いたします。

F-2

NPO法人Being ALIVE Japan / Being ALIVE Japan

E-mail : info@beingalivejapan.org URL : <http://www.beingalivejapan.org>



NPO 法人 Being ALIVE Japan は、地域社会の中で長期療養を必要とするこどもの自立支援、また支えるコミュニティの創出を目的に、長期療養児のスポーツチーム入団事業「TEAMMATES」を企画運営しています。当事業 は、長期療養中のこどもがチームの一員として入団し、定期的に練習や試合等のチーム活動に参加します。現在 までは B リーグクラブをはじめ、J リーグクラブ、実業団チームや大学スポーツチームが事業に参画しており、全国に事業導入することを目指しています。NPO、ファン、多分野と協働しチーム活動やスタジアム内のできる「スポーツ×SDGs」の取組を紹介します。

Being ALIVE Japan is a nonprofit organization that connects children facing serious and chronic illnesses to sport teams, creating a network of support and promoting independence that leads them to the best childhood experience. In the TEAMMATES program, children are officially drafted onto the team, and from there, children would attend practices and games, events as a teammate. In these three years, we have matched children with professional basketball teams and soccer teams, amateur sport teams, college athletic teams. Our goals is to become nationwide program in supporting these children and forming life-changing outcomes. We would like to introduce our impact and innovative actions to the SDGs by using the power of sport and teammates.

F-3

一般社団法人Entertainment Committee for STADIUM・ARENA (ECSA)

E-mail : info@ecsa-japan.com URL : <http://www.ecsa-japan.com>



スタジアム・アリーナに関する事業、運用に関する各種相談対応や新規入会希望に対する事業案内等。

G-1

パナソニック株式会社 / Panasonic Corporation



パナソニックブースでは、セキュリティとエンターテインメントの2つのゾーンで商材・ソリューションを展示 します。セキュリティゾーンでは本展示会で実証予定の「ディープラーニング顔認証システム」をエンターテインメント ゾーンでは単焦点プロジェクターによる「ミニシアター」を中心にデモや映像を交えて展示します。

Panasonic Booth exhibit solutions in two zones. Security zone exhibit "Deep Learning Face Recognition System" to be demonstrated at this exhibition. Entertainment zone exhibit "Mini Theater Corner".

G-2

株式会社山下 PMC / Yamashita PMC Inc.

URL : <https://www.yPMC.co.jp/>



山下 PMC はプロジェクトマネジメント(PM)/コンストラクションマネジメント(CM)のリーディングカンパニーとして、20 年以上の実績があります。スポーツ施設では、北海道ボールパーク、フラット八戸、横浜スタジアム(増築・改修)、JFA 夢フィールド、広島中央公園広場サッカースタジアム、SAGA サンライズパーク等、次世代型スポーツ施設の建築マネジメントを手掛けています。山下 PMC は、施設単体にとどまらず、地域を巻き込み、さまざまな産業の輪を広げながら、スポーツ振興に貢献します。

Yamashita PMC is a leading company in project management (PM) and construction management (CM). As a "Facility Strategist," We provides management solutions to translate Business Strategies.

G-3

株式会社エヌジーシー / NGC Corporation

E-mail : kawakami@ngc.co.jp URL : <https://www.ngc.co.jp>



当社ブースでは日本のスポーツシーンに於いて、運営者・競技者・来場者の全ての皆様にご活用いただける、最新の映像技術を駆使した製品ソリューションの数々を実演デモでご覧いただけます。すべての製品において“直感的な操作”を軸としており、映像演出＝プロでなければ操作できない”というイメージを払拭、皆様ご自身で操作ができ、効果的な演出やサービスの提供が可能となる製品を揃えております。スタジアム運営者様、スポーツ競技団体様からスポーツコンテンツ制作会社様 広告会社様、放送事業者様、地方自治体様まで、様々なお客様のビジネスシーンにご活用いただける製品でございます。

At our booth, you will see demonstrations of product solutions using the latest video technology that can be used by all operators, and even players in the Japanese sports scene.

G-4

株式会社タニタ / TANITA Corporation

URL : https://www.tanita.co.jp/product/g/_MC980NG09A/



・タニタ マルチ周波数体組成計 MC-980A-N Windows®搭載により1台で測定・保存・管理を実現した6周波最高スペックモデル。アスリートから一般の方まで、コンディショニング管理の必須アイテムです。
 ・タニタ 黒球式熱中症指数計 熱中アラーム TT-562 屋内はもちろん、屋外・直射日光下でも使える黒球式熱中症指数計。WBGT 値・熱中症予防指針をお知らせし、スポーツ活動時の熱中症対策にご使用頂けます。

・Body composition analyzer model MC-980A-N
 Future generation body composition analyzer with high accuracy and multi function.
 ・Wet-bulb globe temperature index meter TT562
 To prevent of heat stroke

H-1

ピーエス株式会社 / PS Co., Ltd.

E-mail : info@psk.co.jp URL : <https://ps-group.co.jp>



アリーナ屋内用の除湿型放射冷暖房 PS HR-C

Heating & Cooling Radiator

H-2

株式会社東畑建築事務所 / TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

E-mail : contact@tohata.co.jp URL : <http://www.tohata.co.jp/>

東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

東畑建築事務所は 1932 年創業以来、お客さまに真摯に向き合う姿勢を堅持し、経験と叡智を結集して、人々を豊かにする建築や都市環境の創生に取り組んで参りました。なかでも、数多くのスポーツ関連施設の実績は、蓄積されたノウハウを活用して、時代に即したニーズを的確に設計に反映していく技術力をお客様に認めていただいた成果であると自負しております。今後も、お客さまの期待に応えるだけでなく、期待を超えるサービスをご提供して、社会の発展にも貢献してまいります。

Since the foundation in 1932, "TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS" has been keeping on engaging sincerely with customers, integrating experience and wisdom, and working on the creation of architecture and urban environments which are able to enrich people. Among others, we pride ourselves on the fact that the achievements of many sports-related facilities are the result of our technological capability that can accurately reflect plugged-in needs in the design, using our accumulated know-how, which our customers recognize. We will do continue not only to respond to expectations of our customers but also to provide services that exceed their expectations and to contribute to the development of society as well.

H-3

株式会社CSIソリューションズ / CSI SOLUTIONS CORP.

E-mail : csisol_salesinfo@csi.co.jp URL : <https://www.csi.co.jp>



株式会社CSIソリューションズ

無線LAN を諦めていた方々へ「新世代メッシュPicoCELA」

無線多段中継技術により、従来有線の敷設工事が難しく無線LANの導入を諦めていたエリアの無線化や一時的な無線LAN網の構築を簡単に可能にするソリューションです。

- ・LAN配線部分を不要にし、コスト削減に貢献します
- ・様々なシチュエーションで無線LAN 空間を容易に実現できます
- ・アプリケーションの搭載が可能で、エッジコンピュータとしての利用も可能です

"New Generation Mesh PicoCELA" for those who have given up wifi Reduce lan wiring and contribute to cost reduction Wireless LAN space can be easily realized in various situations

H-4

株式会社イトーキ / ITOKI Corporation

E-mail : CS@itoki.jp URL : <https://www.itoki.jp/>



私共イトーキでは、「働きながら健康になるオフィス」作りは、生産性と企業価値を高める重要なテーマであると考えております。今後、働く世代が減少していく中で、従業員の健康管理を個人任せにはせず、企業が積極的に関与する健康経営に注目が集まっております。立って仕事をす、誰かの席まで歩いていく、といった“仕事にも健康にも良い行動”を促進する、「分析・場づくり・意識付け」のトータル提案で働きかたの変革をサポートいたします。

We believe that creating an office that makes us healthy while working is an important theme to enhance productivity and corporate value.

I-1

Axess Japan 株式会社 / Axess Japan K.K.

E-mail : japan@teamaxess.com URL : <https://www.teamaxess.com/jp>



Axess は、世界をリードする発券およびアクセス管理システムプロバイダーです。オーストリアの自社工場と、全世界に広がる販売・サポートネットワークでお客様にご満足いただけるサービスをお届けします。スタジアムやアリーナの入退場管理のほか、インターフェイスによる他社発券システムとの統合も可能です。すでに多くのお客様にお使いいただいている標準製品を基礎に、プロジェクトごとにカスタムソリューションをご提供いたします。Axess は、革新的なハードウェアと最先端のソフトウェアモジュールで、あらゆる分野においてお客様のご要望にお応えします。

Axess is one of the leading solution provider of access management and ticketing systems. With our production facility in Austria and worldwide sales and support locations, we have all the necessary resources to be able to serve our customers to their full satisfaction. Our standardized interfaces to third-party systems enables to connect the existing ticketing system of individual stadia and arenas.

I-2

IXPASS(イクスパス) / IXPASS

E-mail : info@ixpass.com URL : <http://www.ixpass.com/>



IXPASS(イクスパス)は誇り高きスポーツ設備職人ブランドです。

多くのトップアスリートの方々に愛用されていて、NBA.MLB.NFL.NCAAなどで、●シェアNO.1のハイベックシート●スポーツロッカーをご提供致します。スポーツ設備関連商品づくりを始めてから今日まで、IXPASS(イクスパス)はスポーツ設備メーカーとして、さらなる品質の追求を怠らず、誇りと責任を持って、材料の厳選及び製造技術、品質管理の向上をめざしてきました。

Highest quality sport lockers and best equipment storage for your team!

* Refined design IXPASS sport lockers provides the best environment for athlete with pro-level design.

* Excellent ventilation Our sport lockers feature open shelves, large openings with proper air flow to help your uniforms, shoes, protective padding, or other equipments dry faster. It is made for lacrosse, basketball, football, baseball, ringette, and soccer equipment.

* Custom options Our lockers are fully customizable. Choosing from wide range of colors, sizes, personalized nameplate, logos to match your team/school/clubhouse the options are virtually endless.

I-3

株式会社 竹中工務店 / TAKENAKA CORPORATION

URL : <http://www.takenaka.co.jp/>



当社は「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」ことを使命として、創立以来、建築を専業とし、ランドマークとなる数多くの建築物を手がけてきました。ドーム・スタジアムにおいても、日本初の全天候型スタジアム「東京ドーム」を始め、全国各地に数多くの実績があります。昨年に続き「最高の瞬間を 最高の舞台で®」をテーマとし、今回は「ながく使われるスタジアム・アリーナ」として、スタジアム・アリーナが長く親しまれ続けられるための技術や手法、新しい付加価値や魅力などを紹介します。(®竹中工務店の商標です)

With the mission of "Contribute to society by passing on the best works to future generations", we have specialized in architecture and have worked on numerous landmark buildings, since its founding. Regarding Dome and Stadium, we have many works throughout Japan, including Japan's first all-weather stadium "Tokyo Dome". Continuing from last year, the theme is "To Make the Best Moments in the Highest Stage". This time, we will show you the technologies and methods that will enable the stadium arenas to continue to be used for a long time, as well as new added value and attractiveness.

J-1

コトブキシーティング株式会社 / KOTOBUKI SEATING CO.,LTD.

URL : www.kotobuki-seating.co.jp



当社は1914年創業の公共家具メーカーです。「イスのコトブキ」として、国内主要の劇場、5大ドームを筆頭としたスタジアムやアリーナ、著名な学校施設など、日本を代表する様々な建築・建造物に携ってきました。米国、英国、フランス、ベトナム、シンガポール、マレーシア、台湾、韓国のグループ会社を通じて、その納入先は、世界に広がっています。

Established in 1914, Kotobuki Seating is a pioneering manufacturer of furniture for public facilities. Japan's foremost provider of seating for theaters, cinemas, arenas, and stadiums as well as furniture for classrooms and lecture halls, it is also active worldwide, with affiliates in the U.S.A., U.K., France, Vietnam, Singapore, Malaysia, Taiwan and South Korea.

K-1

大成建設株式会社 / TAISEI CORPORATION

E-mail : https://f.msgs.jp/webapp/form/10878_kcq_14/index.do URL : <https://www.taisei.co.jp>



大成建設はスポーツ施設のパイオニアとして、旧国立競技場をはじめ数多くの施設づくりに参画してまいりました。その培った知見を基に、次世代型スタジアム&アリーナや、スポーツを核にしたまちづくりに最適なソリューションをご提供いたします。オリンピック・パラリンピック東京2020大会のメイン会場である新国立競技場『社のスタジアム』も間もなく竣工を迎えます。私たちは多くの人々が感動を共有できる施設づくりはもちろん、多世代が交流する地域のコミュニティの核となるスポーツ施設づくりも支えてまいります。皆様の抱える課題について、どうぞ大成建設にご相談ください。

As a pioneer in sports facilities, Taisei Corporation has participated in planning and construction of numerous sports facilities, including the former and the new National Stadium (Tokyo2020). Based on the knowledge we have acquired as one of the oldest and largest General Construction Contractors in Japan. We provide optimal solutions for state of the art stadium, sports arena and sports oriented development. We will continue to support the creation of sports facilities that are the core of local communities where multi-generations interact, as well as the facilities where many people gather to share their experiences. If there is anything we can help with your challenge, please do not hesitate to contact us. We would be glad to assist you.

K-2

株式会社日建設計 / NIKKEN SEKKEI LTD

E-mail : global@nikken.jp URL : <http://www.nikken.jp/ja/>

NIKKEN

日建設計は、建築の設計監理、都市デザインおよびこれらに関連する調査・企画・コンサルティング業務を行うプロフェッショナル・サービス・ファームです。1900年の創業以来、国内外約50カ国250都市、25,000件以上のプロジェクトに携わってきました。私たちの志を表現した「EXPERIENCE, INTEGRATED」には、今後さらに人々の想いに応え、社会環境デザインの先端を拓いていく決意が込められています。クライアントの想いや経験に、日建グループの多種多様な専門性と蓄積した経験を組み合わせることで、世界の人々に豊かな体験をお届けしていきます。

At Nikken Sekkei, we take an integrated approach to our projects as a professional service firm. Across all in-house disciplines of architectural design: urban design, research, planning and consulting – our teams work collaboratively to deliver better solutions for clients. We embody the Nikken Group's philosophy of "Contributing to society through work that offers true value". For over 115 years, we have been creating better environments in response to social demand and the needs of our clients. Since our establishment in 1900, we have completed more than 25,000 projects, in over 250 cities, across 50 countries. We proudly work under the expression "EXPERIENCE, INTEGRATED", which shows our determination in breaking new ground in environmental design by meeting and furthering expectations. We design solutions and environments that create truly meaningful experiences for people and communities around the world by integrating our accumulated expertise and knowledge with that of our clients'. The world faces a variety of challenges: reducing our carbon footprints, living in harmony with nature, securing safety and peace of mind. These have deep relevance to architecture and city planning, and we are conscious that Nikken Group must play a greater role in the future of everyone.

K-3

株式会社MLJ / MLJ Inc

E-mail : info@musco.co.jp URL : www.musco.co.jp



アメリカでスポーツ照明のシェア8割を誇るMuscoの特長は、一灯ごとにレンズ・バイザーを選んで光をコントロールする独自技術。選手・観客へのまぶしさが少なく競技に集中しやすい照明環境が110カ国以上で認められ、直近のラグビー世界大会など数多くの大舞台で採用されています。演出面でも、音楽や映像との連動システムで会場をダイナミックに彩り、「また来たい」と思ってもらえるスタジアム・アリーナの実現に貢献します。本イベントでは特設イベント会場で実際にカラー照明を制御して、エンターテインメント性を高めるための演出を行います。

Since 1976, Musco has dedicated itself to the design of sports lighting systems globally. Through years of research and innovation, we contribute to bring your venue the best lighting environment.

L-1

エンリオJAPAN/セノー株式会社 / ENLIO JAPAN/SENO Inc.

E-mail : info@ks-trinity.com URL : <https://ks-trinity.com/>



ITTF公認
世界基準の安全性とクオリティを全てのスポーツ施設へお届けいたします。
最高のパフォーマンスを生み出し、日本のスポーツを加速させる。
最適な機能と安全な環境をすべての人に!!

L-2

株式会社 共立電照 / Kyoritsudensyo Co., Ltd.

E-mail : fk-led@nag.bbq.jp URL : <https://www.fk-led.com/>



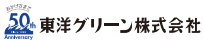
私たちの使命は"ものづくり"。
株式会社共立電照は、LED照明器具の防災・防犯照明やスポーツ施設照明、道路照明などの提案をし、設計・製造・開発に努めています。今回、出展する製品は、スコアボード・投光器・テニスコート用照明。どの製品も数多くの実績を持ち、特に、スコアボードは、プロ野球キャンプ地でも納入実績があります。また、照明についても、各スポーツ種目・競技によって適切な明るさが必要であり、私たちは、一般からアスリートまでのプレイヤーが競技に集中できるスポーツの光環境をご提案します。

Our mission is "Manufacturing". Kyoritsudensyo Co.,Ltd. makes proposals for disaster prevention / crime prevention lighting for LED lighting fixtures, sports facility lighting, road lighting, etc., and strives to design, manufacture and develop. The products to be exhibited this time are scoreboards, floodlights, and tennis court lighting. Each product has many achievements, especially the scoreboard has been delivered in professional baseball campgrounds. In addition, lighting needs to have appropriate brightness for each sporting event and competition, and we propose a lighting environment for sports where players from general to athletes can concentrate on the competition.

L-3

東洋グリーン株式会社 / TOYO GREEN CO., LTD.

URL : <https://www.toyo-green.com/>



東洋グリーンは、日本および東アジアを代表する芝生企業を目指して設立されました。

そこから40年以上にわたり、芝生利用の多様化に向け芝生を育む専門企業として、モンスーン気候帯での芝生のIPM(総合管理)に取り組み続けています。今日では、200名を超える芝生の専門家たちが国内外と交流し、活躍の場を持っています。

当社は、ますます多様化する芝生へのニーズに応え、環境に配慮し、豊かな芝生文化形成に貢献できる企業として、お客様と共に歩み続けたいと願っています。

Toyo Green is a full service company that specializes in promoting integrated turfgrass management. Founded in 1969, we have contributed to the management of turfgrass and the benefits of turf in the environment of Japan. Toyo Green offers our customers the highest quality turfgrass technologies in cooperation with leading global institutes and companies. Our experienced staff can provide the products, services, and technical assistance necessary for growing healthy turf and producing beautiful greens.

L-4

株式会社近畿日本ツーリスト首都圏 / Kinki Nippon Tourist Shutoken Co.,Ltd.

E-mail : tate941036@mb.knt.co.jp URL : <https://www.knt-metro.co.jp/>



「近畿日本ツーリスト首都圏」は、国内第2位の総合旅行会社であるKNT-CTホールディングス傘下の首都圏エリア会社です。地域の会社でありながら、個人旅行はもとより、団体旅行、訪日旅行、イベント事業など、我々の扱う領域はグローバルです。中でもスポーツ事業は、国内外の数多くのスポーツイベント運営を取り扱っており、東京2020オリンピックのオフィシャル旅行サービスパートナーでもあります。

Kinki Nippon Tourist Kansai Co.,Ltd is a Metropolitan area company affiliated with KNT-CT Holdings, the second largest travel agent in Japan.

L-5

戸田建設株式会社 / TODA CORPORATION

URL : <https://www.toda.co.jp>



戸田建設株式会社は、開催されるスポーツとイベントを核とした豊かな時間を追求したアリーナを提案します。高品質中規模アリーナ「High-Grade MidSize Arena」の第1弾で楕円形状アリーナ「オーバルシップ」。街にインパクトを与える形状。高揚感を助長し、スポーツの躍動感を表現する構造デザイン。多様な規模や多彩な運用に対応するフレキシブル性を持った架構形式。関係者の皆様にご満足いただける提案をブースにて紹介します。「High-Grade MidSize Arena」:多くのアリーナ建設の経験をもつ戸田建設が提供する7000~12000m²の高品質中規模アリーナの提案。高い合理性・汎用性・シンボル性をもったアリーナを品質と経済合理性を追求して開発。敷地、要件により様々な提案が可能。

The proposed arena can mainly hold sporting events and other events securing time for a healthy and rich life. The first step of "High-Grade Midsize Arena" is elliptical shape arena, called "Oval Ship". The shape of arena can give an impact on townscape. The structural design of arena can make you feel elation and expresses a dynamic image of sports. The structural frames have flexibility handling a variety of scales and operations. High-Grade MidSize Arena: Toda Corporation has many experiences of building arenas and proposes a high quality midsize arena of 7,000 to 12,000 m². It was developed pursuing quality with a highly economical rationality, versatility and a symbolic image. A variety of arenas can be proposed depending on building sites and conditions.

M-1

Terraplas

E-mail : enquiries@terraplas.com URL : www.terraplas.com



あなたのスタジアムが本当に多目的であることを望むなら、あなたのピッチ保護のための唯一の解決策は Terraplas です! Terraplas 製品は、お客様の高品質な草を顧客や重機から保護するための唯一のソリューションとして広く認められています。スタンド M-1 を訪れて、Terraplas があなたをどのように助けることができるかを正確に話し合ってください。

If your Stadium is to be truly multi-purpose the only solution for your pitch protection is Terraplas! Terraplas is to Turf Protection what Hoover® is to vacuum cleaners and Kleenex® to paper tissues - with good reason! There is no compromise on quality or performance - with Terraplas you KNOW you have the Best! Terraplas systems last over 30 years - FACT! No other product can match this proven lifespan. No matter what event or where it is hosted, Terraplas products are universally acknowledged as the only solution for successfully protecting your quality grass from hordes of people, stages & heavy equipment. To ensure we provide the very best solutions for our Clients, we maintain a consistent approach to research and development, resulting in a comprehensive range of high specification products that exceed customer requirements. Don't compromise on quality, insist on genuine Terraplas! Talk to us on Stand M-1 to discuss exactly how Terraplas can help you. Terraplas is part of the world renowned Justrite Safety Group - comprising world famous brands including Checkers Safety Group's: Yellow Jacket®, Linebacker® and Guard Dog® cable protectors, Hughes Safety Showers, Tufftrak® Alturamat® Versamat®, Trakmat® and terraroad® ground protection in addition to Wheel Chocks, Outtrigger pads, parking aids, Notrax® industrial matting etc.

M-2

ELAN Inventa

E-mail : albin.huebl@standworks.eu URL : www.standworks.eu



Elan is the market leader in the field of portable, mobile retractable seating systems. ELAN is the supplier of many large venues throughout Europe, including Russia and the Middle East. ELAN has been part of building successful sports stories for 75 years. Today we are the leading and innovative provider of skis, sailboats, sports equipment and seating systems. We are part of the KJK Sports team, which represents many other different sports.

Elan Inventa offers complete solutions for outdoor and indoor sports facilities and innovative solutions in the field of advanced retractable seating systems, which can adapt to the modern dynamics of sports and events. ELAN strives for development and innovation of sports equipment and telescopic stands and provide technical and functional solutions that follow modern guidelines. With our own know-how, we develop safe and user friendly equipment that adapts to specific features in sports, event or multipurpose venues. In 2012, 2013 and 2015, we received the Plus X Award for Most Innovative Brand of the Year for quality, design, user experience, usability, ergonomics and environmental awareness. ELAN stays for: Knowledge. Innovation. Passion. People.

N-1

Signature Systems Group

E-mail : info@signaturecorp.com URL : www.signaturecorp.com/stadium



ロンドンオリンピックはじめ 数々の国際大会での実績! 世界でもっとも信頼されている プラスチック敷板メーカーです

World's most trusted ground protection and temporary access provider for major games. Keep your playing surfaces and fans safe during special events with the strongest and fastest installing turf protection system in the world.

N-2

NATURAL GRASS

E-mail : info@naturalgrass.com URL : www.naturalgrass.fr



AirFibrは、トップレベルのサッカーやラグビースタジアム、トレーニング施設向けに設計された、フランス製の強化(リインフォース)された天然芝の技術のことです。AirFibrのピッチは、天然コルク、合成マイクロファイバーおよび珪砂を芝の根域に固定した100%天然の芝から構成されます。つまり、人工芝はピッチ上にありません。わずか3年の間に、AirFibrは、プロのサッカーやラグビーチーム・選手のための30以上のスタジアムやトレーニングセンターに設置され、グラウンド芝の市場では第一人者となりました。

Natural Grass (NG) is one of the world's leading and most innovative companies in the field of reinforced natural surfaces. After 4 years of R&D, AirFibr is the first technology brought by Natural Grass into the market of top level football and rugby pitches. Since 2016 Natural Grass is leading the French hybrid pitch market in football and rugby and equips the most demanding clubs across the world (Real Madrid, Arsenal, Golf National for the RyderCup, OL...). Natural Grass has equipped with AirFibr the newly-built Kamaishi Recovery Memorial Stadium for the Rugby World Cup. It has been recognized as one of the most performant pitch of the competition. The AirFibr technology is made of 100% natural turf anchored in an artificial rootzone (fine high-grade silica sand, 150 billion synthetic microfibers and natural cork). This technology is specifically designed for top-level football and rugby stadiums and training centers.

N-3

ディーアンドビー・オーディオテクニク・ジャパン株式会社 / d&b audiotechnik Japan K.K.

URL : www.dbaudio.jp



当社は、ドイツに本社を置くプロ用音響機器のグローバル企業d&b audiotechnikの日本法人です。日本市場の販売、サービス拠点となる横浜本社オフィスには当社スピーカーの試聴が可能なデモルームを完備しています。スピーカーを始めとするd&bの音響製品は、世界中の著名アーティストによるライブコンサートのアリーナで数多く使用されている他、アムステルダム・アリーナ等のスポーツ・スタジアムやシドニーオペラハウス等のホール・シアターの音響設備として世界中で活躍しています。

d&b audiotechnik Japan is a subsidiary of German based professional audio manufacturer, d&b audiotechnik GmbH Co. KG. The head office, based in Yokohama, not only offers sales and service in the Japan market, but also has a demo room to offer free listening opportunities of d&b loudspeakers for any customers. Sound systems created by d&b are used worldwide for concerts, festivals, sporting and corporate events in venues of all sizes, from concert halls to theatres, opera houses and convention centres; gracing everything from the tiniest conference rooms to the largest stadiums.

O-1

株式会社大林組 / Obayashi Corporation

URL : <https://www.obayashi.co.jp/>



「世界がまだ見ぬボールパークをつくらう」をキーワードに、北海道北広島市に計画中の北海道ボールパークを中心に展覧いたします。

We will exhibit mainly in Hokkaido Ball Park, which is planned in Kitahiroshima, Hokkaido, with the keyword "Let's make a ball park that the world has never seen",

P-1

株式会社梓設計 スポーツ・エンターテインメントドメイン / AZS SPORTS・ENTERTAINMENT DOMAIN

URL : <https://www.azusasekkei.co.jp/>



私たちは、にぎわいある「まちづくりの核」となるスタジアム・アリーナの実現に向け、運用も視野に入れたプロジェクトマネジメントによる施設づくりを行う設計会社です。スポーツをする、観るだけでなく「魅せる」施設として収益性のある、まちを活性化できる施設づくりで、東京オリンピック2020以降も成熟し続ける日本のスポーツ文化の醸成に寄与していきます。

P-2

AGC株式会社 / AGC Inc.

URL : <http://www.agc-chemicals.com/jp/en/>



明るさや快適性が求められる公共・商業施設や太陽光による芝の育成を考えたスタジアムなど、AGC の高機能フッ素樹脂 Fluon® ETFE フィルムは、世界中の様々な建築空間で採用されています。フィルムの持つ軽量で高い透明性、機械的強度の高さを活かした自由な形状の構造物や、LED 照明との組み合わせによる光の演出で楽しい快適な空間など、デザインのアイデアは無限に広がります。

Fluon® ETFE Film manufactured from transparent thermoplastic. Architectural Fluon® ETFE Film has several features. Highly transparent, Lightweight and wide design flexibility, Mechanical strength.

Q-1

コーディエンス / codience

E-mail : info@codience.net URL : <https://codience.net>



スポーツを通してSTEM人材を育む「STEMスポーツ」

ICTの発展に伴う急激な時代の変化により、子供達に求められる資質や能力も変化しました。スポーツの世界でも、テクノロジーやデータの活用が進み、アスリートにも論理的な思考力、解決に導く力やリーダーシップ、チャレンジ精神、忍耐力、コミュニケーション能力など、様々な能力が求められるようになってきています。そこで、STEM教育の統合的な学習を意識したプログラムをスポーツに取り入れることで、これらの資質を持つアスリートやデータサイエンティストを育て、さらに、新しいスポーツ観戦の可能性を提供します。

Q-2

playground株式会社 / playground Co., Ltd.

E-mail : atsuhiko.shimogo@playground.live URL : <https://playground.live/>



リアルイベント業界に特化した技術開発、コンサルティングを行う総合エンターテック企業です。「Quick Ticket by MOALA」を起点とするコネクテッドスタジアムプラットフォーム「MOALA」ではライブ体験のデジタル化を通じて「ライブをもっとおもしろくする」取り組みを推進しています。「MOALA」の主力機能である「Quick Ticket by MOALA」は埼玉西武ライオンズ、Vリーグやサンリオピューロランド等の大手企業に導入されており、電子チケットの新しいカタチを提供しています。今後も、リアルイベントをデジタルの力で変革するべく、デジタル×リアルイベントの新しい挑戦を続けています。

"playground" is an EnterTech (entertainment × technology) company. We offer technology development and consulting services specialized in digitalization of real live events. With "MOALA", a connected stadium platform, we are driving the task "to make live events more fascinating" forward, by digitalizing real live experience. The core service of MOALA, "Quick Ticket by MOALA" provides a new form of E-ticket, which has been implemented in ticketing systems of major promoters such as Saitama Seibu Lions, V League and Sanrio Puroland. To revolutionize real live events, we will continue taking on new challenges.

Q-3

株式会社Sportip / Sportip, Inc.

E-mail : contact@sportip.jp URL : <https://www.sportip.jp/>



トレーナーやスポーツコーチの指導をアシストするAIである、SportipアシスタントAIを出展します。

トレーナーの指導に関わる全てを効率化し、高品質な指導を届けるための動作解析などを提供するサービスです。売上向上・コスト削減を見込むことが可能です。

We will exhibit Sportip Assistant AI that assists trainers and sports coaches. It is a service that provides motion analysis to improve the efficiency of trainer instruction.

Q-4

タイムカプセル株式会社 / TimeCapsule Inc.

URL : info@timecapsuleinc.org



ビジネスモデルは受講料を収益源としたスクールビジネスです。

年間を通じたカリキュラム(初年度は短期、または数回程度開催)を受講いただき、スポーツメディアクリエイターを育成いたします。またカリキュラムは、今後のスポーツメディアに必要なビッグデータ解析や、AI、画像認識(解析)など最新のテクノロジーをいち早く導入してまいります。

The business model is a school business that uses tuition fees as a source of revenue.

We will cultivate sports media creators by taking a curriculum throughout the year (short term or held several times in the first year). In addition, the curriculum will quickly introduce the latest technology such as the data analysis, AI, and image recognition (analysis) that will be required for future sports media.

Q-5

株式会社KAGO食スポーツ

E-mail : info@kg-sport.com URL : http://kg-sport.com



◎アスリートの健康をチェックする検査キット「アスリート健診キット」
パフォーマンスに影響を及ぼす貧血の原因に多い「鉄欠乏を確認するフェリチン」や、ケガの改善や身体を作るために不可欠な「栄養状態を確認する項目」などが一般血液検査では実施しない項目を確認でき、さらに公認スポーツ栄養士のアドバイスサービスまで整備。自己採血キットで病院へ行かず、時間と場所を気にせず検査ができるため、合宿や研究での利用も可能である。
◎サプリメントのような冷凍惣菜「サブDEL」
鉄欠乏の対策として、手軽に美味しく「鉄」が摂れる冷凍惣菜。食品は栄養素の集合体であり、根本的な栄養改善のために提案する商品です。

Q-6

REXARD JAPAN 株式会社 / REXARD JAPAN Co., Ltd.

E-mail : info@rexard.co.jp URL : http://rexard.co.jp



独自再帰反射フィルム・シートを活用した視認性の高い応援グッズや防犯・交通安全グッズの知的財産権取得製品の企画・製造・販売を行っております。主な製品では、イベント応援腕章【Quickfit:クイックフィット】再帰反射フィルムラッピング自転車【Flash cycle:フラッシュサイクル】再帰反射ラッピングヘルメット【Flash met:フラッシュメット】再帰反射ステッカー【Flashsticker:フラッシュステッカー】等、今までに無かった高い視認性を持つアイデア製品づくりを行っております。

We plan, manufacture, and sell high-visibility support goods and crime prevention / traffic safety goods using original retroreflective films and sheets.

Q-7

Rirry ME ホールディングス / Rirry ME Holdings

E-mail : info@rirry.co.jp URL : https://rirry.co.jp/



Rirry MEグループのミッションは、持続可能な社会と、その事業創造環境を構築することです。
我々は主に以下のようなソリューションを提供します。
・再生可能エネルギーを活用した発電・蓄電に関するソリューション
・IoTシステムによる管理・記録・PDCA業務に関するソリューション
・ITオフショア開発体制の提供

Our mission is to build a sustainable society and the environment to realize it
・ Power generation and storage using renewable energy
・ Management and recording IoT system
・ IT offshore resource

Q-8

株式会社MOJ / MOJ Co., Ltd.

E-mail : noboruwatanabe@nisshodo.co.jp



封筒、名刺、紙製品の販売
企画、デザイン、WEB制作
米国LOVE POP社 3Dカード販売代理店

無線機・トランシーバー・インカムを制す者は

イベントを制す



導入したイベントや 大会は悉く成功。

※悉く[ことごとく]... ①全部、すべて ②残らず

成功への鍵は、ウェッジのトランシーバーを有効活用する事

KEYNUMBER

皆様に愛されて

KEYNUMBER

全国主要都市

KEYNUMBER

これまでの取引社数

創業 **23** 年 全国 **9** 拠点展開 実績 **8** 万社以上

豊富なご導入実績 (実はスポーツの世界でも多く使われているんです!)

京都マラソン 東京マラソン ねんりんピック サミット関連会議・万博など ワールドカップ (サッカー・ラグビー)
国体・総体・障害者スポーツ大会 F1日本グランプリ 警備会社様の保守・管理業務 その他多数のスポーツイベント
大手スーパーストアチェーン様における通信インフラ 運送会社様の情報管理および動急システムの構築

弊社オリジナル
国産トランシーバー

WED-NO-001



Wedge co.,ltd.

無線機の販売・レンタル・修理・サブスクならウェッジ株式会社

〒110-0015 東京都台東区東上野 5-13-6 ウェッジビル
FAX:03-5246-4551 E-Mail:info@aaa-wedge.co.jp



0120-248-144

コンファレンススケジュール

		コンファレンス会場A		日英同時通訳
11月19日(火)	時刻	コンファレンス会場A		
	10:00	展示会 OPEN		
	10:15	WS	ウェルカムスピーチ	無料
	10:50	A-1	特別講演 日本のラグビーを変える！～新しいプロリーグとは～	無料
	12:00	A-2	スポーツと企業の関わり方～スポーツで企業のマーケティング課題をスポーツアクティベーションはどのように解決するのか？～	有料
	13:00	A-3	スポーツ×オープンイノベーションの可能性	無料
	14:00	A-4	女性アスリートの育成環境の整備	無料
	15:00	A-5	東京オリンピック・パラリンピックを契機としたこれからのスポーツ大会の楽しみ方	無料
	16:00	A-6	スタジアムの設計運営におけるトレンドの変化とは？	無料
17:00	A-7	営業収入の増加とファンエンゲージメント～スタジアム市場における正しいアプローチ～	無料	
18:00	展示会 CLOSE			
11月20日(水)	時刻	コンファレンス会場A		
	10:00	展示会 OPEN		
	10:15	A-8	スポーツ競技団体生き残りの条件、2020東京を超えて～フェンシング協会に飛び込んだビジネス・パーソン視点から～	無料
	11:15	A-9	大学スポーツはどこへ行くのか？～UNIVASの誕生と将来～	無料
	12:15	A-10	新国立競技場と日本におけるスタジアム&アリーナの未来	無料
	13:15	A-11	Jリーグが考える未来のスタジアム	有料
	14:15	A-12	スポーツとメディアの素敵な関係	有料
	15:15	A-13	スタジアムピッチについて～ハイブリッド芝の躍進とスポーツ産業へのインパクト～	無料
	16:15	A-14	サッカーにおける審判の存在意義	無料
17:30	展示会 CLOSE			
11月19日(火)	時刻	コンファレンス会場B		
	10:00	展示会 OPEN		
	11:00	B-1	日本における Next Arena , Next Stadium Vol2	無料
	12:00	B-2	スポーツ×ベンチャー×地方創生の可能性について～埼玉イノベーションリーダーズ育成プログラム (Saitama Sports Start-up) の取り組み～	無料
	13:00	B-3	スポーツを活用した地域活性化・地方創生～さいたま市から考える～	無料
	14:00	B-4	企業は競技スポーツの価値をどう引き出すか？	無料
	15:00	B-5	スポーツ×SDGs 新潮流	無料
	16:00	B-6	スポーツの力で社会貢献～長期療養児のスポーツチーム入団事業TEAMMATES～	無料
	17:00	B-7	eスポーツの目指すべき未来	有料
18:00	展示会 CLOSE			
11月20日(水)	時刻	コンファレンス会場B		
	10:00	展示会 OPEN		
	10:15	B-8	若手経営者からみたプロクラブ経営の魅力	有料
	11:15	B-9	これからのJリーグ、Bリーグのデジタルマーケティング	無料
	12:15	B-10	スタジアム・アリーナを核とするまちづくりの整備プロセス論	無料
	13:15	B-11	つかわれ続けるスタジアム・アリーナ～魅力と事業性を高めるために～	無料
	14:15	B-12	街中スタジアムはこうして作る～美ら島スタジアム計画を事例に～	無料
	15:15	B-13	世界がまだ見たことのないボールパーク。北海道ボールパークプロジェクト	有料
	16:15	B-14	スポーツで日本とアジアを繋ぐ	有料
17:30	展示会 CLOSE			
		コンファレンス会場C		
11:15	C-1	黄金期を迎えた英国フィットネス・ブティックスタジオ産業	無料	

11月19日(火)

コンファレンス会場A / Conference Room A

日英同時通訳
English Translation

WS 10:15 - 10:45

無料

ウェルカムスピーチ / Welcome Speech

川淵 三郎	Saburo Kawabuchi	(一社)日本トップリーグ連携機構 代表理事 会長 / President, JAPAN TOP LEAGUES ALLIANCE
鈴木 大地	Daichi Suzuki	スポーツ庁 長官 / Commissioner of the Japan Sports Agency
大野 元裕	Motohiro Ono	埼玉県 知事 / Governor, Saitama Prefecture
尾山 基	Motoi Oyama	日本スポーツ産業学会 会長 / (株)アシックス 代表取締役会長兼CEO Co-President, JAPAN SOCIETY OF SPORTS INDUSTRY / Chairman and CEO, Representative Director, ASICS CORPORATION

A-1 特別講演 10:50 - 11:45

無料

日本のラグビーを変える！～新しいプロリーグとは～ Rugby in Japan is set to change! - What is in store for a new professional league? -

パネリスト	川淵 三郎	Saburo Kawabuchi	(一社)日本トップリーグ連携機構 代表理事 会長 / President, JAPAN TOP LEAGUES ALLIANCE
	清宮 克幸	Kiyomiya Katsuyuki	(公財)日本ラグビーフットボール協会 副会長 / Vice-President, Japan Rugby Football Union
	境田 正樹	Masaki Sakaida	(公財)日本ラグビーフットボール協会 理事、弁護士、東京大学 理事 Director of the Japan Rugby Football Union, Director of the University of Tokyo, Lawyer
	廣瀬 俊朗	Toshiaki Hirose	(株)HIRAKU 代表取締役 / CEO, HIRAKU Company
司会	須黒 清華	Sayaka Suguro	テレビ東京アナウンサー / Announcer TV-TOKYO

W杯日本開催の興奮が冷めやらぬ中、ラグビーの国内プロリーグを2021年に発足させる構想が動き出す。今後日本のラグビーはどのように変わっていくのか？ラグビープロリーグ創設のキーマンと、Jリーグ、Bリーグを立ち上げた川淵会長が語るパネルディスカッション。

As the excitement of hosting the Rugby World Cup in Japan continues at a high pitch, plans to establish a professional rugby league in Japan in 2021 are taking shape. How will the rugby scene in Japan change in the future? This session will be a panel discussion featuring the key person set to launch Japan's Professional Rugby League and Chairman Saburo Kawabuchi, who launched Japan's J League and B League.

A-2 12:00 - 12:45

有料

スポーツと企業の関わり方 ～スポーツで企業のマーケティング課題をスポーツアクティベーションはどのように解決するのか？～ Corporate involvement in sports - How will sports activation solve corporate marketing issues in sports?

講演者	日置 貴之	Takayuki Hioki	スポーツブランディングジャパン(株) 代表取締役社長 / President, Sports Branding Japan Co., Ltd.
インタビュアー	生沢 浩	Hiroshi Ikezawa	ジャパントイムズ 編集局 報道部 スポーツ担当シニアエディター Domestic News Division, Sports Senior Editor, Japan Times

世界中の人々を熱狂させるスポーツの強みを活かしたスポンサーシップは、露出を目的とした広告宣伝から、スポンサー権利を活用して企業課題を解決し、価値を最大化するアクティベーションへ進化している。本セッションでは、国内外で数多くのスポーツ大会、プロアマチームのマーケティングやブランディングを手掛ける第一人者が、一般的に言われているスポンサーシップやアクティベーションの問題点を指摘し、企業とスポーツのあるべき未来像を提案します。

Sponsorship capitalizing on the strength of sports that fan the enthusiasm of people all over the world has evolved from advertising aimed at exposure to activation for solving corporate problems and maximizing value. In this session, a leading expert with extensive experience in marketing and branding numerous sports events and professional and amateur teams both in Japan and overseas will present generally recognized issues in sponsorship and activation and propose a profile of the future relationship between corporations and sports.

A-4 14:00 - 14:45

無料

女性アスリートの育成環境の整備 / Improving the environment for training female athletes

講演者	佐々木 則夫	Norio Sasaki	サッカー日本女子代表前監督 / Former Head Coach of The Japan Women's National Football Team
司会	遠藤 秀一	Shuichi Endo	(一社)さいたまスポーツコミッション 副会長兼専務理事 / Vice Chairman, Saitama Sport Commission

近年オリンピックやW杯における日本女性アスリートの活躍に注目が集まる中、女性アスリートの強化と支援を本格化する機運が高まっている。特に女性アスリートに特有の健康問題をサポートする環境づくりの充実が急務となっており、産学官と指導者やアスリートが連携した取り組みが拡大している。本セッションでは、日本女子サッカーを世界に導いた監督の視点から、女性アスリートの育成環境の整備について語っていただく。

As the performance of Japanese female athletes in the Olympics and the World Cup attract increasing attention in recent years, the momentum for enhancing the status of female athletes and providing support for them in earnest is also growing. In particular, creating an environment that will provide support for female athletes in specific health issues is a matter of great urgency, and collaborative initiatives of industry, academia and government as well as leaders and athletes are expanding. This session will discuss improvement in the environment for training female athletes from the viewpoint of the manager who led the Japan women's national football team to the No. 1 position in the world.

**スポーツ×オープンイノベーションの可能性 / Potential for sports + open innovation**

パネリスト	川合 現 Gen Kawai	スポーツ庁 参事官 (民間スポーツ担当) Director, Sports Organizations Support and Private-Sector Collaboration Division, Japan Sports Agency
	小泉 文明 Fumiaki Koizumi	(株)メルカリ 取締役会長 兼 (株)鹿島アントラーズ・エフ・シー 代表取締役社長 President, Mercari, Inc. CEO, Kashima Antlers F.C. Co., Ltd.
	岡部 恭英 Yasuhide Okabe	TEAMマーケティング/Head of APAC Sales、Jリーグアドバイザー / Head of APAC Sales
モデレーター	藤沢 久美 Kumi Fujisawa	シンクタンク・ソフィアバンク 代表 / Co-founder, Think Tank Sophia Bank

スポーツ庁の掲げるスポーツオープンイノベーション推進事業政策により、スポーツ界と他業界の共創による新事業の創出へ向け、スポーツを実証の場とする市場開拓促進への取り組みが活発化している。一方、民間企業の動きも顕著となってきた。ICT企業をはじめとする新たなプレーヤーのスポーツ界への参入や、彼らのスポーツをテコにした新たなコミュニケーション手法は衆目を集める。スポンサーシップにとどまらず、クラブ経営に乗り出す真意は？これらわが国の事象に対し、果たして欧米での実情はどうか極めて興味深い。本セッションでは、スポーツ×オープンイノベーションの可能性について、官民の立場から、そして欧米での事例も交えて議論する。

The business policy on promoting open innovation in sports business advocated by Japan's Sports Agency has sparked active efforts to promote development of a market which will serve as a testing ground for verifying the role of sports in the creation of new business through co-creation between the world of sports business and other industries. In fact, moves by private sector companies in this area are already becoming noticeable. The entry of new players into the world of sports including ICT firms, and the new communication method of leveraging sports to grow their brands are attracting the attention of the public. What are the true intentions of companies in making forays into club management rather than adhering to simple sponsorship? It is very interesting to see what the situation is like in the United States and Europe in comparison with that in Japan. In this session, we will discuss the potential of sports combined with open innovation from the perspective of both government and the private sector, while considering examples in the United States and Europe.

**東京オリンピック・パラリンピックを契機としたこれからのスポーツ大会の楽しみ方****The Tokyo Olympic and Paralympic Games and beyond: How we will enjoy sports events in the future?**

講演者	三木 泰雄 Yasuo Miki	(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 チーフ・テクノロジー・イノベーション・オフィサー Chief Technology Innovation Officer, The Tokyo Organizing Committee of the Olympic and Paralympic Games
司会	中村 好男 Yoshio Nakamura	日本スポーツ産業学会 理事・運営委員長 / Director, Executive Committee Chairman, Japan Society of Sports Industry

競技場でも、家でも、街中でも。東京オリンピック・パラリンピックは、最先端テクノロジーにおいても世界中から期待されている。本セッションでは、東京2020組織委員会のテクノロジー・イノベーションに関する責任者が、特に魅力的な技術(映像系、ロボット、SNS等)を紹介し、東京大会を契機としたこれからのスポーツ大会の楽しみ方を解説する。

Whether at the stadium, at home or out and about, sports fans around the world have high expectations for cutting-edge technology that will bring to them the events of the Tokyo Olympic and Paralympic Games. In this session, the member of the Tokyo Organizing Committee of the Olympic and Paralympic Games in charge of technical innovation will introduce particularly attractive technologies (video, robotics, SNS, etc.) and explain various ways in which we will be able to enjoy sports events at the Tokyo Games and thereafter.

**スタジアムの設計運営におけるトレンドの変化とは? / Evolving trends in Stadia Design and Operations**

パネリスト	Greg Turner	Founder, High Performance Venue Management
	Jason Frew	Vice President of Sales, Signature Systems Group
	Stephen Hogg	d&b audiotechnik
モデレーター	John Seehan	Pan Stadia & Arena Management Magazine

このセッションでは、各分野のスペシャリストがスタジアム&アリーナの設計や運用などの最新トレンドを議論します。最近の設計の特長から、この先の予測まで。そして、設計者や施設の運営者がファンにとっての新たな経験をどのようにしたらもたらすことができるのか、そのテーマに迫ります。

In this roundtable discussion, a range of experts will tackle the latest trends in design and operations for stadia and arenas. How has stadia and arena design evolved in recent years and what can we expect in the future? How can designers and operators make the match day experience special for fans?

**営業収入の増加とファンエンゲージメント ~スタジアム市場における正しいアプローチ~****Revenue Generation and Fan Engagement -which approaches have worked past in mature Stadia Markets**

パネリスト	Mark T. Black	IA Stage
	Albin Hubl	Standworks
	Nick Sautner	Eden Park
	Esti Kesuma	
モデレーター	John Seehan	Pan Stadia & Arena Management Magazine

このセッションでは、成功した事例を中心にファンエンゲージメントと収入増加策についての知識を共有していただきます。何がファンを引き付け、またどんな施策が収入増につながるのか、日本でも重要な示唆をぜひお聞きください。

This high-level panel will share their expertise on the best fan engagement strategies that have worked in stadia and arenas they have been involved with. What keeps fans coming back and what initiatives have really driven revenue generation?

11月19日(火) **コンファレンス会場B / Conference Room B**

B-1 11:00 - 11:45

無料

日本における Next Arena , Next Stadium Vol.2 / Next Arena , Next Stadium in Japan Vol.2

講演者 **永廣 正邦 Masakuni Nagahiro**

(株)梓設計 常務執行役員 プリンシパルアーキテクト スポーツ・エンターテインメントドメイン長
Managing Executive Officer, Principle Architect, Leader of AZS SPORTS ENTERTAINMENT DOMAIN
Azusa Sekkei Co., Ltd.

日本らしい「次世代」アリーナ、「次世代」スタジアムとは？今まで当社で取り組んだ様々なスポーツ施設設計を通して、AZS SPORTS ENTERTAINMENT DOMAINでは研究をまいりました。欧米型の施設とも違う、世界に誇れる、地域の特色を生かしたNext Arena, Next Stadiumの在り方・プロトタイプ第2弾について提言をいたします。

What is meant by a "next-generation" arena or "next-generation" stadium appropriate for Japan? Bearing in mind the design of various sports facilities AZS Sports Entertainment Domain has worked on over the years, we conducted some research. We would like to make proposals for the second prototypes and orientation of the "Next Arena" and "Next Stadium" as world-class models, which are different from Western models and capitalize on local characteristics.

B-2 12:00 - 12:45

無料

スポーツ×ベンチャー×地方創生の可能性について～埼玉イノベーションリーダーズ育成プログラム (Saitama Sports Start-up) の取り組み～ Potential for sports + ventures + regional revitalization - Saitama Sports Start-up initiatives -

パネリスト **間野 義之 Yoshiyuki Mano**

早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授 / Professor, Faculty of Sports Sciences, WASEDA UNIVERSITY

倅田 康征 Yasuyuki Kaseda

スポーツ庁参事官 (民間スポーツ担当) 付参事官補佐
Deputy Director, Sports Organizations Support and Private-Sector Collaboration Division, Japan Sports Agency

新里 英男 Hideo Nissato

埼玉県 産業労働部 副部長 / Deputy Executive Director, Department of Industry and Labor, Saitama Prefecture

モデレーター **里崎 慎 Shin Satozaki**

デロイトトーマツ ファイナンシャルアドバイザー(株) シニアヴァイスプレジデント
Senior Vice President, Deloitte Tohmatsu Financial Advisory LLC.

埼玉県では、東京2020オリンピック・パラリンピック等を控え、拡大が見込まれるスポーツ市場について、ビジネスアイデアの事業化やその事業の拡大を目指す若者を支援するため、「埼玉イノベーションリーダーズ育成プログラム (Saitama Sports Start-up)」を実施しています。本プログラムは、埼玉を代表とするプロスポーツクラブ・球団である浦和レッドダイヤモンズ・大宮アルディージャ・埼玉西武ライオンズの協力のもと、3者から提供いただいた課題に対して、ベンチャー企業や起業希望者が自らのアイデアや技術等を用いた課題解決方法を提案するプログラムです。本プログラムにおける取組事例及びその意義・魅力について紹介するとともに、「スポーツ」と「ベンチャー」を切り口とした地方創生策について、パネリストそれぞれの立場からお話しします。

Under the banner of regional revitalization, various local governments throughout Japan have been promoting various approaches to revitalizing their local areas. Among these is Saitama Prefecture, which used a grant for promoting regional revitalization to launch the Saitama Sport Start-up ("SSS"), a unique initiative using sports and a start up as a wholly new approach to regional revitalization. The SSS is a program whereby venture companies and entrepreneurs, through the application of their own ideas and techniques, propose methods for solving issues pertaining to the management of the Urawa Red Diamonds, Omiya Ardija, and Saitama Seibu Lions, which are professional sports clubs and teams representing Saitama, with the cooperation of these three organizations. The session will first introduce SSS initiatives in regional revitalization through sports and start-ups and will be followed by a panel discussion where panelists will discuss the significance and issues as well as the appeal of working with the SSS from their particular perspectives.

B-3 13:00 - 13:45

無料

スポーツを活用した地域活性化・地方創生 ～さいたま市から考える～ Regional and local revitalization through sports - Saitama City as a case in point

基調説明 **池田 純 Jun Ikeda**

(一社) さいたまスポーツコミッション 会長 / Chairman, Saitama Sports Commission

パネリスト **高橋 伸一郎 Shinichiro Takahashi**

さいたま市 スポーツ文化局 スポーツ部 参事 兼 スポーツ政策室長
General Advisor and Director, Sports Policy Office, Department of Sports Affairs, Saitama City

岡田 明 Akira Okada

日本アイ・ビー・エム(株) GBS事業本部 iX シニアマネージングコンサルタント
Senior Managing Consultant, IBM Japan, Ltd.

松田 雄史 Yuji Matsuda

(株)NTTデータ経営研究所 エグゼクティブシニアスペシャリスト
Executive Senior Specialist, NTT DATA INSTITUTE OF MANAGEMENT CONSULTING, Inc.

モデレーター **桂田 隆行 Takayuki Katsurada**

(株)日本政策投資銀行 地域企画部 課長
Regional Planning Department, DEVELOPMENT BANK OF JAPAN Inc.

現在、全国各地でプロスポーツクラブ、スタジアム・アリーナやスポーツコンテンツを活かした地域活性化やまちづくりの議論がなされている。このセッションでは「サッカーのまち」に加え、「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」、「さいたま国際マラソン」といった国際スポーツイベントの開催などの実績もある「スポーツのまち さいたま」での取り組みを主な題材としながら、今後のスポーツを活用した地域活性化・地方創生の可能性を議論するものである。

Discussions on the subject of using professional sports clubs, stadiums, arenas, and sports content to propel regional revitalization and urban development are taking place all over Japan at present. This session will discuss the potential for using sports as the driving force in regional and local revitalization in the future, while taking a close look at initiatives of "Sports Town Saitama," a city that not only successfully promoted its image as a "soccer town" but also has a proven track record in holding international sports events such as the Tour de France Saitama Critérium and Saitama International Marathon.

企業は競技スポーツの価値をどう引き出すか? / How will companies exploit the value of competitive sports?

パネリスト	田中 和弘 Kazuhiro Tanaka (株)スポーツビズ 取締役 / Director, SPORTS BIZ CO.LTD
	松田 裕雄 Yasuo Matsuda (株)Waisportsジャパン 代表取締役、筑波大学体育系研究員 / CEO, Waisports Japan
	佐藤 敏基 Toshiki Sato アメリカンフットボール社会人リーグ IBM Bigblue所属 / American football player
モデレーター	木下 雅幸 Masayuki Kinoshita (株)山下PMC 取締役 専務執行役員 / Director, Senior Managing Executive Officer and CIO, Yamashita PMC Inc.

スポーツの魅力、アスリートの経験値をビジネスでも生かし、企業価値、社会課題解決につなげる機運が高まっています。しかし、従来の企業の広告塔としての役割だけでは、競技スポーツの真の価値を引き出すことはできません。本講座では、競技からライフプランまでアスリートのマネジメント・活動をサポートしている田中氏、マネジメント能力の発掘・育成を目的に競技スポーツの機能を活かした社会人研修をプロデュースしている松田氏、日本人初NFL選手の実現に向け、企業とのパートナーシップの中で自身の価値提供を可視化しようと奮闘中のアメフト キッカー 佐藤氏をパネリストに迎えました。スポーツの価値向上に向けた考えをスタジアムやアリーナの形に結びつけるべく、スポーツビジネス関連プロジェクトのマネジメントを担う木下氏がモデレーターし、それぞれの経験をもとに、産業、アスリート、社会の発展への有効なアプローチについて議論します。

The momentum in the corporate world to exploit the appeal of sports and the experience of athletes even in business and to connect these to corporate value and solving social issues is gaining traction. The role of sports simply as a traditional corporate billboard, however, is not capable of exploiting the intrinsic value of competitive sports. This session will present as panelists Mr. Tanaka, who provides support to athletes in the management of their activities from competitions to life planning; Mr. Matsuda, who produces training programs for working adults that apply the functions of competitive sports to discover and develop management skills, and Mr. Sato, a placekicker on an American football team, who is making strenuous efforts at demonstrating in a visible way his provision of value in partnerships with companies to realize his dream of becoming the first Japanese NFL player. Mr. Kinoshita, who manages sports business-related projects, will moderate the discussion with a view to linking ideas for improving the value of sports to the physical structure of stadiums and arenas. Based on their respective experiences, the panelists will discuss effective approaches for developing the industry, athletes and society.

スポーツ×SDGs 新潮流 / Sports and SDGs - A new trend

パネリスト	小林 哲也 Tetsuya Kobayashi 三菱ケミカル(株) 高機能ポリマー部門 サステナブルリソース本部 サステナブルポリマーズ事業部 企画管理グループ マネージャー Manager, Sustainable Resouces Div., Advanced Polymers Business Domain, Mitsubishi Chemical Corporation
	岡本 昭史 Akifumi Okamoto (株)Don Don up 代表取締役社長 / CEO, Don Don up CO., Ltd
	井口 洋平 Yohei Iguchi (一社)Meister 理事 / Director, Meister Association
モデレーター	澤田 陽樹 Haruki Sawada (一財)グリーンスポーツアライアンス 代表理事 / Executive Director, Green Sports Alliance Japan

日本での、スポーツをコアとした持続可能な新規ビジネス開発の現状とは。すでに始動しているプロジェクトの事例を、参画する多様な企業の視点を交えながら紹介する中で、海外事例や日本における問題点、今後の展望などを検討していく。

What is the current state in sustainable new business development centered on sports in Japan? In the course of presenting case studies of projects already launched and various participating companies expressing their viewpoints, this session will consider various examples overseas, problems in Japan, and the outlook for the future.

スポーツの力で社会貢献 ～長期療養児のスポーツチーム入団事業TEAMMATES～

Social contribution through the power of sports- TEAMMATES: program for convalescing children to participate in sports team activities -

パネリスト	北野 華子 Hanako Kitano (特非)Being ALIVE Japan 理事長 / Executive Director, Being ALIVE Japan
	横田 陽 Akira Yokota (株)レバंगा北海道 代表取締役 / CEO, Levanga Hokkaido
	水谷 尚人 Naohito Mizutani (株)湘南ベルマーレ 代表取締役社長 / President Director, Shonan Bellmare Co.,Ltd.
モデレーター	後藤 太輔 Taisuke Goto 朝日新聞オピニオン編集部記者 / Writer, Op-Ed Section, The Asahi Shimbun

長期病気療養中の子供をプロスポーツチームのチームメイトとして迎え入れてもらい、子供や家族、地域にネットワークを構築することを目的とした活動「TEAMMATES」。モデレーターに朝日新聞記者後藤氏を迎え、実施した各チームにおける効果、問題点などの事例の紹介を通じて、日本の社会貢献活動の現状と問題点、今後の課題等を明らかにしていく。

TEAMMATES is a program aimed at building networks of children, families, and communities by welcoming children undergoing treatment for long-term illness as "teammates" of professional sports teams. With Asahi Shimbun newspaper reporter Goto acting as moderator, this session will shed light on the current status of social contribution activities, problems, and future issues in Japan through the presentation of case studies that will illustrate the effects on teams where the program has been implemented as well as the challenges.

eスポーツの目指すべき未来 / Future vision for e-sports

パネリスト	榎本 一郎 Ichiro Enomoto (株)サードウェーブ 取締役副社長 / Executive Vice President, THIRDWAVE CORP.
	大友 真吾 Shingo Otomo (株)CyberZ 取締役 eスポーツ事業管轄 RAGE総合プロデューサー / Director, CyberZ
	藤本 恭史 Yasushi Fujimoto (合)ライアットゲームズ パブリッシング統括部 統括ディレクター Publishing Dept. Director of Publishing, Riot Games.
モデレーター	平方 彰 Akira Hirakata (一社)日本eスポーツ連合 理事 / Executive Director, JAPAN eSPORTS UNION

「eスポーツ」は2018年8月のアジア大会では公開競技に採用され、2024年オリンピックでの採用も検討されている。世界では多くのeスポーツ大会が開かれスポーツコンテンツとして活況を呈する中、日本では昨年「eスポーツ元年」とも呼ばれ、一気にブレイクし注目を集めている。こうした盛り上がりの中で、eスポーツ界への民間参入のチャンスはまだあるのか? eスポーツの未来のためには、今何が必要なのか? 本セッションでは、統括団体、IPホルダー、大会企画・運営、ハード提供など様々な立場から、eスポーツを世代を超えて根付かせ、やがては文化に。そして子供たちがeスポーツプレイヤーに憧れる未来の姿への展望を語っていただく。

E-sports were featured at the 2018 Asian Games as demonstration matches, and their inclusion in the 2024 Olympic Games is under review. As many e-sports events are being held around the world and offer a wide range of sports content, last year in Japan in what is said to be the "inaugural year of e-sports," e-sports made a sudden breakthrough and have been attracting attention ever since. As excitement for e-sports builds, are there opportunities for private sector enterprises to enter the fray of the e-sports world? If so, what is required for a future in e-sports? This session will consider e-sports from various positions such as governing bodies, IP holders, event planning and management, and the provision of hardware as a pursuit that will become established across generations and ultimately become part of our culture. The session will also venture to make projections about the future of e-sports where children are set to become devoted fans of e-sports players.

11月20日(水)

コンファレンス会場A / Conference Room A

日英同時通訳
English Translation

A-8 10:15~11:00

無料

スポーツ競技団体生き残りの条件、2020東京を超えて ~フェンシング協会に飛び込んだビジネス・パーソン視点から~ Beyond 2020 Tokyo : Conditions for the survival of sports competition organizations - from the viewpoint of a business person who leaped into the Fencing Federation -

講演者 **宮脇 信介** Nobusuke Miyawaki (公社)日本フェンシング協会 専務理事 / Secretary General, Japan Fencing Federation

司会 **田口 禎則** Yoshinori Taguchi (一社)日本トップリーグ連携機構 理事・事務局長 / (一社)Entertainment Committee for STADIUM・ARENA(ECSA) 事務局長
Executive Director, Alliance of Japan Top Leagues / Executive Director, Entertainment Committee for STADIUM・ARENA(ECSA)

フェンシング協会は、新しいスポーツ団体の「ロールモデル」でありたいと願って、この2年急速な改革に取り組んでいます。その取り組みは、太田雄貴会長の発信で部分的にはニュースとなって報道されていますが、今回、その全体像を広く皆様にお話しするチャンスに恵まれました。例えば、何故、全日本大会を劇場で行ったのか。何故、英語が喋れないと日本代表選手になれないのか。背景にある大切なフィロソフィー（基本原則）をお話しします。改革は「5つの基本原則」で構成されています。ビジネス・ストラテジーのスポーツへの応用。私共の取り組みが、あらゆるスポーツ団体とスポーツにとどまらない多くのビジネスに共通する課題へのソリューションとヒントとなることを願っています。

With aspirations to establish a new role model for new sports organizations, the Japanese Fencing Federation (Federation Japonaise d'Esime) has been devoting efforts to introducing rapid reforms for the past two years. While these efforts made the news, due in part to the announcement of Chairman Yuki Ohta, on this occasion we have been blessed with the opportunity to present the overall picture. For example, why did we hold the All Japan Fencing Championship at a theater? Why can't a player who can't speak English represent Japan? We look forward to discussing the important philosophy (basic principles) that explains the reasons why. Our reforms consist of five basic principles. These can be applied to a business strategy for sports. We hope that our initiatives will offer solutions and tips for issues common not only to all sports organizations and sports but also to many businesses.

A-9 11:15~12:00

無料

大学スポーツはどこへ行くのか? ~UNIVASの誕生と将来~ What is the future of university sports? - Launch of UNIVAS and the future -

講演者 **池田 敦司** Atsushi Ikeda (一社)大学スポーツ協会 (UNIVAS) 専務理事 / Director General, Japan Association for University Athletics and Sport

司会 **中村 好男** Yoshio Nakamura 日本スポーツ産業学会 理事・運営委員長 / Director, Executive Committee Chairman, Japan Society of Sports Industry

本年3月1日に設立された一般社団法人大学スポーツ協会 (UNIVAS)。設立半年余りで会員大学数は200を超え、会員競技団体は30を超える規模となっている。そもそも、人気の競技もあり、盛り上がりを見せて順風満歩であるかのように見える大学スポーツ界において、何故新たにUNIVASが誕生することになったのか? そのUNIVASが目指しているものは何か、そして大学スポーツをどうして行こうとしているのか? 現状の大学スポーツの実態や課題から将来の成長ビジョン、さらに民間企業とのコラボレーションの可能性についてまでも、UNIVASの専務理事が解説をいたします。

The Japan Association for University Athletics and Sport (UNIVAS) was founded on March 1, 2019. In less than six months since its founding, the number of member universities of UNIVAS has grown to over 200, and member athletic organizations to more than 30. At a time when university sports seems to be enjoying the limelight with some very popular sports matches and a growing fan base, why was a new organization such as UNIVAS launched? What is UNIVAS aiming for, and where does it plan to take university sports in the future? The managing director of UNIVAS will cover various aspects of university sports from its current status and issues to the vision of UNIVAS for the future growth of university sports and the potential for collaboration with the private sector.

A-10 12:15~13:00

無料

新国立競技場と日本におけるスタジアム&アリーナの未来 New National Stadium and the future of stadiums and arenas in Japan

講演者 **永廣 正邦** Atsushi Ikeda (株)梓設計 常務執行役員 プリンシパルアーキテクト スポーツ・エンターテインメントドメイン長
Managing Executive Officer, Principle Architect, Leader of AZS SPORTS ENTERTAINMENT DOMAIN Azusa Sekkei Co., Ltd.

司会 **川野 久雄** Hisao Kawano 大成建設(株) 設計本部 特定プロジェクト部 部長 /
General Manager, Specific Project Design Division, TAISEI CORPORATION

『みんなと繋がる、街と繋がる、観客と選手が繋がる、環境と繋がる』スタジアム。大成建設が手掛けた等々力陸上競技場メインスタンドと新国立競技場のそれぞれの『繋がる』をキーワードに今後のスタジアムのあり方を考察する。

Stadium which can "connect to everyone, connect to the city, connect spectators and players, connect to the environment" We will consider the future stadium based on the keywords of "connecting" the main stand of Todoroki Athletic Stadium, which Taisei Corporation worked on, and the new national stadium.

C-1 11:15~12:00 コンファレンス会場C

無料

黄金期を迎えた英国フィットネス・ブティックスタジオ産業 The boutique fitness studio industry in Great Britain is entering a golden age

講演者 **David Minton** Director, The Leisure Database Company

司会 **舟橋 弘晃** Hiroaki Funahashi 早稲田大学スポーツ科学学術院 講師 / Assistant Professor, Faculty of Sport Sciences, Waseda University

英国のフィットネス・ブティックスタジオ産業は黄金期を迎えている。施設数は7,200軒を超え、会員数は1,000万人を突破。市場価値は50億ポンド(6,640億円)を上回る。低価格型、中流層向け、高級会員制といずれの種別も成長トレンドにあり、公共スポーツ施設の利用者も増えている。その中でも、爆発的な人気を誇るのが機能特化型のブティックスタジオである。こうした成長の背景には確たる理由があり、英国フィットネス産業のエキスパートであるThe Leisure Database CompanyのDavid Minton氏が解説する。

The boutique fitness studio industry in Great Britain is entering a golden age. There are more than 72,000 facilities with a membership in excess of 10 million. The value of the market is more than £5 billion (¥664 billion). All categories of membership plans including low-price, middle-range, and high-end are growing, and users of public sports facilities are also increasing. Among these facilities, the boutique studios with specialized functions in particular are enjoying explosive popularity. There is a sound reason underlying this growth, and this will be explained by Mr. David Minton of The Leisure Database Company, an expert in the British fitness industry.

Jリーグが考える未来のスタジアム / Stadium of the future as seen by J-League

パネリスト	村井 満 Mitsuru Murai	(公社)日本プロサッカーリーグ チェアマン / Chairman, JLEAGUE
	千葉 昭浩 Akihiro Chiba	コトブキシーティンググループ CSO / コトブキシーティング アジアパシフィック CEO CSO, KOTOBUKI SEATING GROUP / CEO, KOTOBUKI SEATING APACote.Ltd.
モデレーター	間野 義之 Yoshiyuki Mano	早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授 / Professor, Faculty of Sports Sciences, WASEDA UNIVERSITY

「百年構想～スポーツでもっと幸せな国へ。」掲げるJリーグが目指すスタジアムは、単にサッカーの試合ができればいいという「競技場」ではなく、行政サービスや医療・福祉・教育など日々必要なことが満たせる「コミュニティー・ハブ」機能を兼ね備えた「開かれた集いの場」。サッカーの試合やコンサートなどさまざまな文化イベントなどの「非日常」の楽しみもそこで味わうことができる「ホームスタジアム」こそ、豊かなコミュニティーづくりを実現し、理想の社会づくりの核になります。このセッションでは、Jリーグの村井チェアマンを迎え、有識者を交えて、日本独自の技術を活かした高稼働率スタジアムの構想や、地域コミュニティーの核となる多機能複合型スタジアムの事例など、これからの時代のスタジアムのあり方について語り合います。

Advocating "a 100-year vision - creating a happier country through sports," J. League envisages a stadium that is not just a sports ground where soccer games can be played, but an "open venue that attracts people" and also serves as a "community hub" capable of fulfilling a wide range of daily needs such as government services, health care, welfare, and educational services. A "home stadium" where people in the local area can experience the enjoyment of "extraordinary" cultural events such as soccer matches and concerts, becomes the nucleus in achieving the building of a prosperous community as well as building an ideal society. In this session, we welcome Mr. Murai, Chairman of J. League who, along with other knowledgeable people in the field, will discuss how a stadium of the future should be, including the concept of a stadium with high occupancy rates using unique Japanese technology and examples of multipurpose, composite stadiums that become the core of the local community.

スポーツとメディアの素敵な関係 / A wonderful relationship between sports and the media

パネリスト	平田 正俊 Masatoshi Hirata	Perform Investment Japan(株)(DAZN) ヴァイスプレジデント アクティベーション Vice President Activation, Perform Investment Japan (DAZN)
	黒飛 功二郎 Kojiro Kurotobi	(株)運動通信社(スポーツブル) 代表取締役社長 / CEO, SPORTS BULL
モデレーター	藤沢 久美 Kumi Fujisawa	シンクタンク・ソフィアバンク 代表 / Co-founder, Think Tank Sophia Bank

日本対南アフリカ戦のテレビ視聴率は、今年放送の全番組中最高の41.6%を記録し、日本代表の躍進はまさに社会現象と言える状況を巻き起こした。放送局にとってスポーツは、いまだキラーコンテンツであることが、いみじくも数字で表れたわけである。一方で、OTTと呼ばれる新たなメディアによる観戦は、飛躍的に選択肢が拡がり、確実に存在感を増している。競技団体、リーグ、クラブにとり、貴重な収益源となっており、同時に、欠かせない広報手段でもある。しかも、その競技や団体がメジャーかマイナーかを問わない。視聴者個々の嗜好性が多様化し、個人のライフスタイルの変化と連動しながら、数年前には予想できなかったスポーツとメディアの関係。本セッションでは、結果として、ファンの拡大や魅力的なコンテンツ増加につながり、スポーツ界の抱える課題解決へ近づくスポーツとメディアの素敵な関係について議論する。

A TV rating of 41.6% was recorded for the Rugby World Cup match between Japan and South Africa, with the rapid rise of Japan's national team creating a state of affairs that could only be described as a social phenomenon. The fact that sports programs remain killer contents for broadcasting stations was aptly revealed by the viewing figures. At the same time, watching games via the new over-the-top (OTT) media service is broadening the choice of programs dramatically, and its presence is definitely increasing. This is becoming a valuable source of revenue for sports organizations, leagues, and clubs and, at the same time, is also a vital means of publicity. Furthermore, it does not matter whether the competition or the organization is major or minor. As the preferences of individual viewers grow increasingly diverse and become interlocked with changes in individual lifestyles, this relationship between sports and the media could not have been anticipated a few years ago. This session will discuss the wonderful relationship between sports and the media, which will consequently broaden the fan base and increase the appealing contents and come close to solving problems that have been troubling the sports world.

スタジアムピッチについて～ハイブリッド芝の躍進とスポーツ産業へのインパクト～ Playing Surfaces Discussion: The growing use of hybrid turf and its impact for the sports industry

パネリスト	Clement Bodin	Natural Grass
	Hamish Sutherland	HG Sports Turf
モデレーター	John Seehan	Pan Stadia & Arena Management Magazine

2018年のワールドサッカー、モスクワのルズニキスタジアムにて初めてハイブリッド芝によるピッチが実現しました。その後もスタジアムにおけるハイブリッド芝の導入は世界的な広がりを見せています。このセッションでは、ハイブリッド芝のスペシャリストたちによるその効果やメンテナンス手法など、今後のスタジアム運営に必要なノウハウをシェアいたします。

The World Cup final at the Luzhniki Stadium in Moscow, Russia was the first to be played on a hybrid pitch, and hybrid turf surfaces continue to grow in popularity. Panellists will share their views on this burgeoning market and explain what advantages hybrid turf offers. Installation and maintenance will come under the spotlight.

サッカーにおける審判の存在意義 / Importance of referees in Soccer

講演者	小川 佳実 Yoshimi Ogawa	(公財)日本サッカー協会 理事・審判委員長 / Member of Exco Chairman, Referees' Committee, Japan Football Association
-----	---------------------	---

昨今、様々なトップレベルのスポーツにおいて、勝敗に大きく関わる「審判員による判定」にテクノロジーの導入が進んでいます。サッカーにおいても「ビデオ・アシスタント・レフェリー(VAR)」が2018年 FIFA ワールドカップ、2019年 FIFA 女子ワールドカップで導入され、Jリーグにおいても2020年よりJ1における正式導入が決定されました。審判員による判定にテクノロジーの導入が目玉される中、今一度、サッカーにおける審判の歴史を踏まえ、テクノロジーの導入により、サッカーにもたらされるのは何なのか、またサッカーにおける審判員の存在意義とは何かについて語ります。

Recently, the introduction of technology for "referee decision-making," which significantly influences the outcomes of games, is making headway in various top-level sports. In soccer too, the video assistant referee (VAR) was introduced in the 2018 FIFA World Cup and the 2019 FIFA Women's World Cup. In the J-League too, a decision was made to introduce VAR officially in J1 in 2020. As the introduction of technology for referee decision-making attracts attention, we will discuss what the introduction of technology will bring to soccer in light of the history of decision-making in soccer and, furthermore, the significance of the presence of referees in the game of soccer.

11月20日(水) **コンファレンス会場B / Conference Room B**

B-8 10:15~11:00

有料

若手経営者からみたプロクラブ経営の魅力

Attraction of professional club management from the viewpoint of a young business manager

- パネリスト** **高田 旭人 Akito Takata** (株)ジャパネットホールディングス 代表取締役社長 兼 CEO / 株)V・ファレン長崎 取締役 President and CEO, Japanet Holdings Co.,Ltd.
- 青井 茂 Shigeru Aoi** (株)アトム 代表取締役社長 / コートヤードHIROOオーナー / (株)富山グラウジーズ取締役 Representative Director, President, A-TOM Co., LTD.

モデレーター **間野 義之 Yoshiyuki Mano** 早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授 / Professor, Faculty of Sports Sciences, WASEDA UNIVERSITY

スポーツの成長産業化を促進する流れが胎動している。スポーツ団体の経営力強化の必要性が指摘される中、プロスポーツ界への経営人材の流動性は確実に高まっている。本セッションでは、事業承継後ほどなくしてスポーツとの関わりを強く持つに至り、その取り組みによりスポーツ界に一石を投じる若手経営者からみたプロクラブ経営の魅力について語っていただく。地域との共生・地域の魅力発信による地域創生、ビジネスと感動の両立へ向けた事業展開に注目が集まる。

The trend in promoting sports as a growth industry is spawning new development. While the need for stronger management in sports organizations has been pointed out, the mobility of human resources in management in the professional sports industry has definitely increased. In this session, a young business manager, who became significantly involved in sports soon after taking over a business and who created a stir in the sports world through his bold initiatives, will speak about the appeal of professional club management from his viewpoint as a young business manager. The focus will be on regional revitalization through symbiosis with local communities and the promotion of local attractions as well as business development aimed at achieving a balance between business and excitement.

B-11 13:15~14:00

無料

つかわれ続けるスタジアム・アリーナ ~魅力と事業性を高めるために~

Ongoing use of stadiums and arenas - Enhancing their appeal and business potential

- 講演者** **五十嵐 信哉 Shinya Igarashi** (株)竹中工務店 先進構造エンジニアリング本部長 General Manager, Advanced Structural Engineering Department Head Office, Takenaka Corporation
- 三木 重人 Shigeto Miki** (株)竹中工務店 エンジニアリング本部 空間技術グループ 専門役 Executive Manager, Spatial Technology Group, Engineering Department Head Office, Takenaka Corporation
- 中村 慎 Makoto Nakamura** (株)竹中工務店 環境エンジニアリング本部 エネルギーソリューション企画グループ長 Group Leader, Energy Solution Group, Environmental Engineering Department, Takenaka Corporation
- 高根 一晃 Kazuaki Takane** (株)竹中工務店 情報エンジニアリング本部 課長 Manager, ICT Engineering Department Head Office, Takenaka Corporation

竹中工務店では東京ドームをはじめとする全天候型の多目的スタジアム、本格的なサッカー専用スタジアムPanasonic Stadium SUITAなど、日本のスポーツビジネスに変化をもたらした多くの施設建設の実績があります。これの経験で培ってきた、「ながく使われるスタジアム・アリーナ」を提供するための工夫や方策を「観る人、する人」、「スタジアム・アリーナの運営者」、「スタジアム・アリーナを取り巻く環境やまちづくり」の観点でご紹介します。「観る人、する人」 魅力ある施設とするための建築設計上の配慮・工夫など・「運営者」 事業性と建設費抑制を両立するための取り組みなど・「取り巻く環境やまちづくり」 環境への配慮、情報技術を生かしたまちづくりなど

Takenaka Corporation has a proven track record in the construction of many facilities that transformed sports business in Japan in areas such as all-weather, multi-purpose stadiums including Tokyo Dome, and Panasonic Stadium SUITA, a stadium exclusively for soccer. We will introduce strategies and measures for providing stadiums and arenas for long-term use from the viewpoints of spectators, athletes, stadiums and arena operators, the environment surrounding stadiums and arenas, and urban development. ● Spectators and athletes: consideration and approaches in the construction and design for making it an attractive facility ● Operators: initiatives for achieving a balance between business feasibility and controlling construction costs ● Surrounding environment and urban development: consideration of the environment, urban development taking advantage of information technology

B-12 14:15~15:00

無料

街中スタジアムはこうして作る—美ら島スタジアム計画を事例に—

This is how you construct an urban stadium - A look at the Churashima Stadium Plan

パネリスト **中西 健夫 Takeo Nakanishi** (一社)コンサートプロモーターズ協会 会長 / (一社)Entertainment Committee for STADIUM・ARENA 代表理事 副会長 Vice President, Entertainment Committee for STADIUM・ARENA

倉林 啓士郎 Keishiro Kurabayashi 琉球フットボールクラブ(株) 取締役会長 / Chairman, Ryukyu Football Club

上林 功 Isao Uebayashi 追手門学院大学 社会学部 社会学科 スポーツ文化コース 准教授 Associate Professor, Sports Culture Course, Department of Sociology, Faculty of Sociology, Otomon Gakuin University

モデレーター **長井 延裕 Nobuhiro Nagai** (一社)Entertainment Committee for STADIUM・ARENA プロデューサー/(一社)コンサートプロモーターズ協会 理事待遇 Producer, Entertainment Committee for STADIUM・ARENA

「ECSA(一般社団法人Entertainment Committee for STADIUM・ARENA)」は、スポーツ競技団体とライブエンタテインメント団体の知見集積・ネットワーク活用による利用者目線のスタジアム・アリーナ建設、持続可能な運営計画づくりの在り方について具体的な事例プロジェクトをもとに発信すべく、日本トップリーグ連携機構とコンサートプロモーターズ協会により設立されました。沖縄スタジアム建設計画は、今2019シーズンにJ2昇格し、近い将来のJ1昇格を視野に入れるFC琉球が参画し、J1ライセンス施設基準を満たし、沖縄サッカー界の悲願であるサッカー専用スタジアムとして官公民連携にて進行しています。本セッションでは、構想から現在に至るプロセスと今後の建設推進と「街中スタジアム」運営、エンタテインメントイベントの利活用可能性やマーケティングにおけるECSAとの連携について意見交換を行い、全国のスタジアム・アリーナ構想への指針提示としたいと考えます。

The Entertainment Committee for STADIUM/ARENA (ECSA) was established by Japan Top League Alliance (JTL) and All Japan Concert & Live Entertainment Conference (ACPC) to disseminate information concerning arrangements for the construction of stadiums/arenas and the formulation of sustainable operating plans from the viewpoint of users through the accumulation of knowledge and the use of networks by sports organizations and live entertainment organizations based on specific examples of projects. The construction plan for Okinawa Stadium, with the participation of FC Ryukyu, which was promoted to J2 during the current 2019 season and has its sights set on promotion to J1 in the near future, is moving ahead with the cooperation of the government and private sector to meet the standards for a J1-licensed facility as a stadium dedicated to soccer, a long-cherished wish of the Okinawa soccer world. In this session, we will exchange views on processes from the concept of the stadium to the present, the future promotion of construction, and the management of an urban stadium. We will also discuss cooperation with ECSA in regard to the potential use of the stadium for entertainment events as well as their marketing, and we would also like to present guidelines for stadiums/arenas for Japan as a whole.

これからのJリーグ、Bリーグのデジタルマーケティング / Digital marketing for J. League and B League in the future

パネリスト	塚本 陽一 Yoichi Tsukamoto	B.MARKETING(株) 取締役 / Director, B.MARKETING, Inc. (株)Jリーグデジタル プラットフォーム戦略部 部長 General Manager, Digital Platform Strategy Dept. J.LEAGUE DIGITAL INC.
	笹田 賢吾 Kengo Sasada	プラスクラス・スポーツ・インキュベーション(株) 代表取締役 / Chief Executive Officer & Incubator, PLUSCLASS SPORTS INCUBATION INC.
モデレーター	平地 大樹 Taiju Hirachi	

昨年、世界のスポーツマーケティングを取り巻く環境は日々進化しています。グローバル化も影響し、市場規模は日々大きくなってきており、そこには各リーグがデジタルマーケティングを加速させなければならない理由が多く存在します。本セッションでは、Jリーグ・Bリーグのデジタルマーケティングの現状と課題・未来について、両リーグの視点はどこにあるのか？相違点・相違点はどこにあるのか？などを探っていききたいと思います。

The recent environment surrounding world's sports marketing is evolving on a daily basis. The impact of globalization is expanding the scale of the market daily, and there are many reasons why leagues must take steps to accelerate their digital marketing. In this session, we intend to explore where both J. League and B League stand in regard to current conditions, challenges and the future of digital marketing for both leagues, and their similarities and differences.

スタジアム・アリーナを核とするまちづくりの整備プロセス論 Development process theory of urban development centered on stadiums and arenas

パネリスト	信江 雅美 Masami Nobue	(株)サンフレッチェ広島 スタジアム総合戦略推進室長 Head of Stadium Strategy Office, Sanfrecce Hiroshima FC Co., Ltd.
	中村 考昭 Takaaki Nakamura	クロススポーツマーケティング(株) 代表取締役社長 / President&CEO, XROSS SPORTS MARKETING INC.
	山内 強 Tsuyoshi Yamauchi	沖縄市 企画部 参事 / Planning Director, Okinawa City
モデレーター	矢端 謙介 Kensuke Yabata	(株)日本政策投資銀行 地域企画部担当部長 General Manager, Regional Planning Department, DEVELOPMENT BANK OF JAPAN Inc.

政府の成長戦略「日本再興戦略 2016」でスタジアム・アリーナ改革が掲げられて以降、全国のスタジアム・アリーナを多様な世代が集う拠点として整備する計画や、まちづくりと連携した構想が相次いでいる。このコンファレンスでは、このようなスタジアム・アリーナ改革を実現しようとしている当事者にご登壇頂き、計画の実現に向けたステークホルダーとの対話の進め方や課題への対応の仕方などについて語って頂く。

After the upgrading of stadiums and arenas was proposed in the Japan Revitalization Strategy 2016, plans for improving stadiums and arenas throughout Japan as centers where people of various generations could come together, and designs for linking these with urban development began to appear in succession. At this conference, key persons involved in initiatives to realize the refurbishment of such stadiums and arenas will take the floor to speak from experience on various aspects of the process including how to proceed with dialogue with stakeholders and approaches to solving problems to successfully bring plans to fruition.

世界がまだ見たことのないボールパーク ~北海道ボールパークプロジェクト~ Hokkaido Ballpark Project - A ballpark the world has never seen!

講演者	小川 太郎 Taro Ogawa	(株)北海道日本ハムファイターズ 事業統轄本部 事業企画部 ディレクター Director, Business Planning Dept. Hokkaido Nippon-ham Fighters Baseball Club Co.,Ltd
	伊藤 昇 Noboru Ito	(株)大林組 設計本部 設計部 主任 / Chief, OBAYASHI CORPORATION
	鈴木 洋平 Yohei Suzuki	(株)山下PMC プロジェクトマネジャー / Project Manager, Yamashita PMC Inc.
	神谷 猛士 Takeshi Kamiya	Director of Urban Design /Principal, HKS.inc

北海道日本ハムファイターズが建設を計画している「北海道ボールパーク」について、企画や運営を担う「株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメント」が10月1日に設立された。「北海道のシンボル」となるボールパーク実現へ向けた役割を担う新会社は、これまでファイターズが手掛けてきたプロ野球関連興行業務の他、ボールパーク開業後は新球場の運営業務やボールパーク全体のマネジメント業務まで手掛けるという。建設地となる「きたひろしま総合運動公園」では、既に予定地の造成が始まっており、着工は20年5月の予定で、23年春のオープンを目指す。北海道ならではの大自然を満喫できるエリアに出現する、まったく新しいライブエンターテインメント空間構想が本格的に動き出す。この建設に関わるキープレイヤーである、施主・PM・CM、設計・施工の3者の登壇により、世界がまだ見ぬボールパークの全貌が明かされる。

Fighters Sports & Entertainment Co., Ltd. ("the Fighters"), which is charged with the planning and management of Hokkaido Ballpark, a stadium the Hokkaido Nippon-Ham Fighters plan to construct, was established on October 1. In addition to professional baseball-related business that the Fighters has managed to date, the new company will be responsible for promoting the ballpark as the "Symbol of Hokkaido" and will also be involved in management operations of the new baseball stadium as well as the overall management of the ballpark after its opening. At the construction site in Kitahiroshima General Athletic Park, development of the planned site is already underway, and the start of construction is planned for May 2020, aiming for opening in the spring of 2023. A totally new live entertainment space concept that will emerge in an area where people can enjoy Hokkaido's unique natural beauty is set to move ahead in earnest. The three parties - the project owner, PM/CM, and the contractor - which are the key players in the construction, are stepping up to the platform to reveal a comprehensive picture of a ballpark that the world has yet to see.

スポーツで日本とアジアを繋ぐ / Connecting Japan and Asia through sports

パネリスト	山下 修作 Shusaku Yamashita	(公社)日本プロサッカーリーグ パートナー事業部長 兼 国際部長 General Manager, International Dept. and Corporate Partner Dept. J.LEAGUE
	三村 聡 Satoshi Mimura	岡山シーガルズ(株) 顧問 / Consultant, OKAYAMA SEAGULLS Co.,Ltd
	斎藤 千尋 Chihiro Saito	(公社)ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ 経営企画グループ・国際グループ マネージャー Manager, Strategy Group / International Development Group, B.LEAGUE
モデレーター	桂田 隆行 Takayuki Katsurada	(株)日本政策投資銀行 地域企画部 課長 / Regional Planning Department, DEVELOPMENT BANK OF JAPAN Inc.

わが国においても、ビジネスの拡大や国際貢献を目指し、様々なスポーツコンテンツの海外進出が行われつつある。本セッションでは、中でもサッカー、バスケットボール、バレーボールといったリーグがある球技スポーツコンテンツをテーマとして取り上げるべく、それぞれの球技事業の当事者をパネリストに迎え、アジアへの海外進出や日本とアジアをスポーツで繋ぐ社会貢献の可能性などについて議論を行うものである。

Japanese companies are also using sports contents to make forays overseas with a view to expanding business and making international contributions. To home in on ball sports, where there are established leagues in sports such as soccer, basketball, and volleyball, as a topic, this session will welcome persons involved in ball game business of these respective sports as panelists to discuss the potential for making inroads in Asia and social contributions connecting Japan and Asia through sports.

出展者が製品・サービスをPRできる特設のプレゼンテーションステージ

出展企業が自社の製品・技術・サービスについて、独自の視点や掘り下げたテーマで説明します。

会場ブースでは得られない詳細な情報やノウハウを入手でき、課題解決やビジネスの新たな展開につながる有用な機会となります。

会場：展示会場内 出展者プレゼンテーションエリア

受付：直接出展者プレゼンテーションエリアにお越しください。事前登録は必要なく、どなたでもご聴講いただけます。

11月19日(火) / Nov 19th

11:00 - 11:30	出展者 / Exhibitor : Signature Systems Group 講演名 / Title : 「7 Ways To Win As A World Games Supplier」 講演者 / Speaker : Tony Booth Director of Signature Systems Europe	日英同時通訳 English Translation
11:40 - 12:10	出展者 / Exhibitor : ELAN/Standworks 講演名 / Title : 「The latest developments in the field of mobile, driveable retractable tribunes and portable grandstand systems」 講演者 / Speaker : Mr. Albin Hübl, technical director of Standworks	日英同時通訳 English Translation
12:20 - 12:50	出展者 / Exhibitor : Terraplas 講演名 / Title : 「Multi-Use Stadiums The Expert Way」 講演者 / Speaker : Alex Stead Global Business Development Director, Terraplas	日英同時通訳 English Translation
13:00 - 17:30	出展者 : 埼玉県(埼玉イノベーションリーダーズ育成プログラム(Saitama Sports Start-up)) 講演名 : 「埼玉イノベーションリーダーズ育成プログラム(Saitama Sports Start-up)支援対象者による特別ピッチ」 講演者 : 埼玉イノベーションリーダーズ育成プログラム支援対象者約12名	

11月20日(水) / Nov 20th

10:10 - 11:40	出展者 : 一般社団法人日本トップリーグ連携機構 講演名 : 「情報交換会(プレゼン会)」 厳選された出展者によるリーグ関係者向けプレゼンテーション 講演者 : 1社・団体15分(質疑応答含む)で、4~5社・団体を予定
11:50 - 12:20	出展者 : NECネットエスアイ株式会社 講演名 : 「デジタルトランスフォーメーションで実現する、これからのスタジアム・アリーナ」 講演者 : NECネットエスアイ株式会社 デジタルソリューション事業本部 マネージャー 相崎 範彦
12:30 - 13:00	出展者 : Axess Japan株式会社 講演名 : 「入退場管理の省人化と着券データ分析 -適材適所で人と機械の能力を最大限に発揮-」 講演者 : Axess Japan 株式会社 事業戦略 酒井 理恵
13:10 - 13:40	出展者 : 株式会社山下PMC 講演名 : 「オムニチャンネルで構築するスポーツ・ビジネス・ハブ」 講演者 : 株式会社山下PMC 代表取締役社長 川原 秀仁
13:50 - 14:20	出展者 : ピーエス株式会社 講演名 : 「十人十色の快適性!除湿型放射冷暖房 PS HR-C」 講演者 : ピーエス株式会社 代表取締役 平山 武久
15:10 - 15:40	出展者 : 大成建設株式会社 講演名 : 「みんスタ™ For All Stadium Project のご紹介」 講演者 : 大成建設株式会社 プロポーザル・ソリューション部 ソリューションリーダー 新井 健太

デモンストレーションエリアでは、バスケットボールのエンターテインメントツールとしての可能性を提案します。

五輪競技としても注目の3×3をはじめとする、バスケットボールデモンストレーションや、来場者のみなさまにも参加いただける、シュートチャレンジ、その他にもバスケットコートのような様々な活用事例や演出のご提案を含めてご紹介いたします。

■デモンストレーションイベント(予定)/(株式会社モルテン)

- 3X3 デモゲーム
 - 車椅子バスケットボール
 - シュートチャレンジ(一般参加コンテンツ)
 - バスケットボールクリニック
 - フリースタイルバスケ ショーケース
 - BMX ショーケース
- など

※イベントの詳細は変更となる可能性があります。

※参加する選手への取材をご希望の場合は、当日の調整となります。

■デモンストレーションエリアでの主な展示品

●molten B+ ゲームユニット：株式会社モルテン(B-2)

molten B+(ビープラス)の掲げるビジョンは「もっと強い日本を、バスケットが溢れる風景を」。
molten B+のゲームユニットは、4t.トラック1台で輸送でき、2時間以内で設置できる移動式バスケットコート。
(ゲームユニットには、フロア、ゴール、ボールなどが含まれます)ショッピングモールに、お祭りの中に、街のど真ん中にコートを作れます。プレーしたり、観戦したりしながら、たくさんの方がバスが届く距離で繋がる。そんな風景を作りませんか?(ゲームユニットは販売・レンタルを行っています)



●高出力、高演色性のLEDライト：(株)MLJ(K-3)

white 28,000 lmの高出力、高演色性のDMX制御可能なLEDライト。高演色性とスムーズな調色が可能なLEDムービングライトを2,048 chのDMX機器がコントロール可能な調光卓での絵音楽などに合わせた演出をご提案。



●ENVIVO REPLAY スマートリプレイ：(株)エヌジーシー(G-3)

タッチディスプレイで直感的操作が可能なライブリプレイシステム。簡単に放送レベルのリプレイクリップ作成が可能。SNS連携機能により、eSportsや各種スポーツチームにおける、ファンサービスにも活用可能。



●CHYRONHEGO 大型映像用 送出サーバー：(株)アセント

全米のプロスポーツ市場では数多く採用されている、スタジアム、アリーナなど大型スポーツ施設で使用することに特化したAVプレゼンテーション用送出サーバー。



●選手・コーチのウェイティングシート：コトブキシーティング(株)(J-1)

観客席などの固定シートだけでなく、選手やコーチのウェイティングシートの販売・レンタルなど、ご希望に合わせてご相談に応じます。



●アルミトラス：(株)トーガシ(B-3)

商業施設などでのイベント運営の際に空間環境に合わせた演出を施すため や、安全の確保のための環境づくりのためのレンタルアルミトラスのご提案。



スポーツビジネスジャパン 2019 together with スタジアム&アリーナ 2019
Sports Business Japan 2019 together with Stadia & Arena Japan 2019

ガイドブック / Show Guide

2019年11月19日発行 / Published on November 19, 2019

■発行 日本スポーツ産業学会 / 株式会社コングレ / 株式会社スペースメディアジャパン

■協力 Brintex Ltd. - part of Hemming Group (英国)

Published by Japan Society of Sports Industry / Congress Corporation / Space Media Japan Co., Ltd.

Global Partner: Brintex Ltd. - part of Hemming Group

Copyright 2019 by Congress Corporation / Space Media Japan, Co., Ltd. All rights reserved.

Reproduction of any materials appearing in this show guide is forbidden without prior written consent of the publishers.

Printed in Japan